

市民及び利用者アンケート調査の結果概要について

1. 調査の概要

1.1 目的

現行計画期間中、近年の公共交通をとりまく社会状況や当市のコミュニティバスのサービス内容の改善を図ったこと等により、利用状況に変化が見受けられる。こうした状況を踏まえ、現行計画に関連する事業の評価（市民の満足度）を検証するとともに、さらなる利便性向上に向けた課題を抽出し、新しい計画に反映させることを目的として、市民の交通行動や公共交通に対する意見等を把握するアンケート調査を行った。

調査は、多くの市民を調査対象とした市民アンケート、及び市民アンケートを補完するため、コミュニティバスの利用者を対象とした利用者アンケートの2種類を実施した。

1.2 調査実施概要

①市民アンケート

項目	詳細
調査の名称	木津川市の公共交通に係る総合的な計画策定のためのバスや鉄道などの交通に関するアンケート調査
対象	満16歳以上の木津川市内居住者
サンプリング手法	住民基本台帳より無作為抽出
配布回収方法	郵送配布／郵送回収
配布件数	3,194（木津地域 2,164，加茂地域 638，山城地域 392）
回収件数	1,224（木津地域 792，加茂地域 247，山城地域 155，不明 30）
回収率	38.3%
実施時期	7月17日（木）～8月1日（金）

※参考 標本（n）の決定方法

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K(\alpha)}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

α=母集団特性値の推定を誤る確率（危険率）（%）	5
100-α=信頼度（%）	95
K(α)=正規分布の性質から与えられる値	1.96
ε=標本比率につけるプラスマイナスの幅（%）	3
P=母比率（%）	50
N=母集団の大きさ	60,002
n=必要とされる標本数	1,049

※調査対象者数（標本数）の設定に当たっては、回収率も含めて、信頼度 95%・誤差の幅を±3%で得ることができるよう、前回と同数の 3,200 人に設定。

②利用者アンケート

項目	詳細
調査の名称	木津川市の公共交通に係る総合的な計画策定のためのバスや鉄道などの交通に関するアンケート調査
対象	コミュニティバス利用者
配布回収方法	【配布】●きのつバス ・乗車する利用者へ調査員が手渡し配布 ●かもバス・やましろバス ・乗務員より、利用者へ手渡し配布 ・山城線（ウイング） ・山城線予約型（東洋タクシー） ・加茂地域当尾線（奈良交通） ・加茂地域その他（加茂タクシー） 【回収】・郵送回収（可能であれば車内に回収箱を設置）
調査地点	●きのつバス ・主要バス停（木津駅、高の原駅、山田川駅）
配布・回収件数	下表のとおり
実施時期（案）	きのつバス： 8月6日（水） その他の路線： 8月13日（水）～

■配布・回収件数

対象路線	直接配布	事業者配布	配布計	回収数
きのつバス	247	0	247	120
やましろバス(山城線)	48	0	48	15
かもバス(当尾線)	0	60	60	6
かもバス(奥畑-通学線)	0	30	30	6
かもバス(その他加茂路線)	0	25	25	3
計	295	155	410	150

※やましろバス（神童寺線）は配布ゼロ

1.3 調査票

①市民アンケート

■調査依頼文

木津川市の公共交通に係る総合的な計画策定のための バスや鉄道などの交通に関するアンケート調査

みなさんの声をお聞かせください！



アンケート調査へのご協力をお願い

木津川市では、地域のニーズに応じた利便性の高い地域公共交通の整備と、活力と魅力ある地域づくりを目指して、鉄道・バス・タクシー等の公共交通の活性化に取り組んでおり、現在、「木津川市の公共交通に係る総合的な計画」の策定作業を進めています。

このアンケート調査は、「木津川市の公共交通に係る総合的な計画」に皆様の声を反映させるために実施するものです。調査の対象者につきましては、木津川市にお住まいの15歳以上の方から3,200人を無作為に選ばせていただきました。

お忙しいとは存じますが、大切な計画づくりのための調査ですので、ぜひとも協力いただきますようお願いいたします。

なお、裏面に木津川市内のバス・鉄道の路線図を記載しておりますので、ご活用ください。

平成26年7月

木津川市長 河井 規子

調査票の記入にあたって

- 調査票と返信用封筒には、お名前を記入していただく必要はありません。
- 記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて**来る8月1日（金）までにポストに投函してください。**切手は不要です。
- ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ございません。お答えできる範囲で記入してください。
- この調査票についてのお問合せは、次へお願いいたします。

【問合せ】

木津川市 市長公室 学研企画課

〒619-0286 木津川市木津南垣外110-9

電 話 0774-75-1201(直通：平日の午前8時30分～午後5時15分)
0774-72-0501(代表：内線432)

URL <http://www.city.kizugawa.lg.jp/>



木津川市の公共交通に係る 総合的な計画策定のためのアンケート調査票

※以下の質問について、該当する番号に○をつけ、()内に記入をお願いします。

質問1 あなたご自身のことについておたずねします

①性別	1. 男性 2. 女性
②年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90歳以上
③ご職業(1つに○)	1. 会社員・公務員 2. 自営業・自由業 3. 農業 4. 専業主婦 5. 高校生 6. 大学生・専門学校生 7. アルバイト・パート 8. 無職 9. その他()
④お住まいの郵便番号	(619)-()
⑤ご家庭の車両保有台数	自動車()台, 原付・二輪()台, 自転車()台
⑥運転免許の保有(1つに○)	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. 返納した 4. 持っていない
⑦あなたが自由に使える 移動手段(該当するもの全てに○)	1. 自動車 2. 原付・二輪 3. 自転車 4. なし 5. その他()
⑧同居されている家族 (該当するもの全てに○)	1. ひとり暮らし 2. 配偶者 3. 子 4. 子の配偶者 5. 兄弟・姉妹 6. 父母・義父母 7. 祖父母 8. 孫 9. その他()

質問2 市内で運行する公共交通の満足度についておたずねします

①市内で運行している公共交通の満足度(6段階)に○をつけてください。

※同封の「説明文」裏面の『木津川市内バス・鉄道路線図』を参考にお答えください。

	非常に満足	どちらともいえない				非常に不満	わからない				
ア)きのつバス（木津地域コミュニティバス）……………	5	—	4	—	3	—	2	—	1	—	0
イ)加茂地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー……………	5	—	4	—	3	—	2	—	1	—	0
ウ)山城地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー……………	5	—	4	—	3	—	2	—	1	—	0
エ)奈良交通路線バス……………	5	—	4	—	3	—	2	—	1	—	0
オ)タクシー……………	5	—	4	—	3	—	2	—	1	—	0
カ)電車(JR)……………	5	—	4	—	3	—	2	—	1	—	0
キ)電車(近鉄)……………	5	—	4	—	3	—	2	—	1	—	0

②上記の公共交通に対して、不満に感じる理由・内容をお書きください。(2つの公共交通まで)

公共交通 [①のア)~キ)を記入]	不満の内容

質問3 普段の外出(おでかけ)についておたずねします

①次の“1～7”の中で、あなたが普段最も多く外出する「目的」は何ですか。(1つに○)

1. 通院 2. 買物 3. 通勤 4. 通学 5. 趣味・娯楽 6. 業務 7. その他()

②その「目的」で外出する頻度は、どのくらいですか。(1つに○)

1. 休日を含む毎日 2. 平日のみ毎日 3. 週3～4回 4. 週1～2回
5. 月2～3回程度 6. 月1回程度 7. その他()

③その「目的」の主な行き先はどこですか。(1つに○)

1. 木津川市内 ※施設名または所在地をお答えください 施設名() 所在地()	2. 木津川市外 ※所在地をお答えください(市・町まで記入) 府 市 県 町
---	--

④その行き先まで、最もよく利用する移動手段は何ですか。(木津川市内で最も移動距離が長い手段1つに○)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・二輪 4. 自家用車(自分で運転) 5. 自家用車(送迎)
6. きのつバス 7. 加茂地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー 8. 山城地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー 9. 奈良交通路線バス
10. タクシー 11. 電車(JR) 12. 電車(近鉄) 13. その他()

⑤その交通手段を利用する主な理由は何ですか。(2つまでに○)

1. 目的地まで最も早く行けるから 2. 経済的だから 3. 時間が正確だから
4. 気軽に利用できるから 5. 楽だから(疲れないから) 6. 安全に移動できるから
7. 他に交通手段がないから 8. その他()

⑥その時、自宅を出発するのは何時頃が多いですか。

[1. 午前 2. 午後] ()時頃

⑦その行き先へは、何曜日に外出されることが多いですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 月 2. 火 3. 水 4. 木 5. 金 6. 土 7. 日・祝

質問4 市内のバス交通についておたずねします

①あなたは普段、木津川市内のバス(予約型乗合タクシー含む)を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している 2. 利用していない

※利用していない方にお聞きます

これまでに、バス(予約型乗合タクシー含む)を利用したことがありますか。(1つに○)

1. 以前は利用していた → ④へ進む
2. 全く利用したことはない → 4ページの質問5へ進む

②ここ数年のバス(予約型乗合タクシー含む)の利用回数に変化はありますか。(1つに○)

1. 回数が減った
2. 回数が増えた
3. あまり変わらない

※回数が減った理由は何ですか。(最も近いもの1つに○をつけ、具体的な理由についてもお書き下さい)

1. バスを使う用事が減った
2. 他に便利な移動手段ができた
3. 利用しづらい・不便になった
4. その他

【具体的な理由】例)バス停まで歩くのが辛くなった 等

③あなたが最もよく利用する路線と、その利用区間を教えてください。(1つに○)

よく利用する路線

1. きのつバス(木津地域コミュニティバス) 2. 加茂地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー
3. 山城地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー 4. 奈良交通路線バス

利用区間
(よく乗車・降車するバス停名をお答えください)

(乗車) → (降車)

ア)その路線をどの程度利用しますか。(1つに○)

1. 休日を含む毎日 2. 平日のみ毎日 3. 週3~4回 4. 週1~2回
5. 月2~3回程度 6. 月1回程度 7. その他()

イ)その路線を利用するときの主な目的は何ですか。(1つに○)

1. 質問3の①と同じ目的 2. 通院 3. 買物 4. 通勤
5. 通学 6. 趣味・娯楽 7. 業務 8. その他()

ウ)その路線を利用するときの目的地はどこですか。施設名あるいは所在地をお答えください。(1つに○)

1. 質問3の③と同じ行き先 2. 木津川市内 3. 木津川市外
※施設名または所在地をお答えください ※所在地をお答えください(市・町まで記入)
施設名() 府 市
所在地() 県 町

エ)その路線を利用する主な理由は何ですか。(2つまでに○)

1. 目的地まで最も早く行けるから 2. 経済的だから 3. 時間が正確だから
4. 気軽に利用できるから 5. 楽だから(疲れないから) 6. 安全に移動できるから
7. 他に交通手段がないから 8. その他()

オ)その路線の利用に関して、それぞれの項目の満足度(5段階)に○をつけてください。

	非常に満足	どちらともいえない	非常に不満		非常に満足	どちらともいえない	非常に不満				
●運賃	5	4	3	2	1	●時刻表等の情報提供	5	4	3	2	1
●運賃割引の制度	5	4	3	2	1	●時刻表通りに来る	5	4	3	2	1
●始発バスの時刻	5	4	3	2	1	●バス停標柱の見やすさ	5	4	3	2	1
●最終バスの時刻	5	4	3	2	1	●鉄道との乗り継ぎ	5	4	3	2	1
●運行本数	5	4	3	2	1	●バス同士の乗り継ぎ	5	4	3	2	1
●運行経路	5	4	3	2	1	●総合的な満足度	5	4	3	2	1

→ ④バス(予約型乗合タクシー含む)を「以前は利用していた」が、今は利用をやめた方にお聞きします。 → 4ページの質問5へ進む

ア)利用をやめた主な路線はどれですか。(1つに○)

1. きのつバス(木津地域コミュニティバス) 2. 加茂地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー
3. 山城地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー 4. 奈良交通路線バス

イ)利用をやめた主な理由は何ですか。(最も近いもの1つに○をつけ、具体的な理由についてもお書き下さい)

1. バスを使う用事が無くなった
2. 他に便利な移動手段ができた
3. 利用しづらい・不便になった
4. その他
【具体的な理由】例)バス停まで歩くのが辛くなった、運転免許を取得した 等

ウ)以前バスや予約型乗合タクシーで訪問していた場所まで、現在はどうな手段で移動していますか。(あてはまるものを全てに○)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・二輪 4. 自家用車(自分で運転)
5. 自家用車(送迎) 6. タクシー 7. 電車(JR) 8. 電車(近鉄)
9. 行かなくなった 10. その他()

→ 4ページの質問5へ進む

質問5 コミュニティバスについておたずねします

①市内のコミュニティバスに関する説明を読み、ご存じかどうかをお答えください。(それぞれ、最もあてはまるもの1つに○)

		よく知っていた	多少は知っている	全く知らない
コミュニティバス	○木津川市では、昼間の時間帯の移動手段を確保するため、市が負担して公共施設等を結ぶバスを運行しています。	3	2	1
サービス内容	○現在、市内のコミュニティバスは14路線運行しており、運賃は200円です。運行時間は概ね7時～19時で、運行本数は各路線1時間から2時間に1本程度です。	3	2	1
持続可能な運行への取り組み	○効率的で持続可能な運行のため、住民・利用者・運行事業者・行政による話し合いを行なっています。	3	2	1
利用者数の減少	○コミュニティバスの利用者数は、1年間に約27万人(平成25年度)で、減少傾向にあります。	3	2	1
運行経費	○コミュニティバスの運行経費は、年間約1億3,000万円(平成25年度)で、このうち運賃収入等は約5,000万円で、不足分は市や国等が負担しています。	3	2	1
割引サービス	○1日フリー乗車券(大人400円で1日乗り放題)等の割引サービスがあります。	3	2	1
「きづがわ公共交通だより」の発行	○公共交通に関する情報等をお知らせするため、「きづがわ公共交通だより」を毎月発行しています。	3	2	1

②木津川市のコミュニティバスの今後の必要性についてお聞きます。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1.ないと生活に支障をきたすので必要 | 2.ないと外出の機会が減るので必要 |
| 3.家族や知人が利用しているので必要 | 4.地域の基盤として必要 |
| 5.今は困らないが、高齢になった時など将来的に必要なになる | 6.なくても代わりの交通手段で移動できる |
| 7.なくても全く困らない | 8.わからない |
| 9.その他() | |

最後に、木津川市の公共交通に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート用紙は同封の返信用封筒にて、8月1日(金)までにご返送ください。

■ 調査票

※以下の質問について、該当する番号に○をつけ、()内に記入をお願いします。

①性別	1. 男性	2. 女性			
②年齢	1. 10代 6. 60代	2. 20代 7. 70代	3. 30代 8. 80代	4. 40代 9. 90歳以上	5. 50代
③ご職業(1つに○)	1. 会社員・公務員 4. 専業主婦 7. アルバイト・パート	2. 自営業・自由業 5. 高校生 8. 無職	3. 農業 6. 大学生・専門学校生 9. その他()		
④お住まいの郵便番号	()ー()				
⑤運転免許の保有(1つに○)	1. 自動車運転免許あり	2. 原付・二輪のみ免許あり	3. 返納した	4. 持っていない	
⑥あなたが自由に使える 移動手段(該当するもの全てに○)	1. 自動車 4. なし	2. 原付・二輪 5. その他()	3. 自転車		

1. 通院 2. 買物 3. 通勤 4. 通学 5. 趣味・娯楽 6. 業務 7. その他()

利用区間
※乗車・降車したバス停名及び駅名を
お答えください。

(乗車) ➡ (降車)
 (乗車) ↙ (乗車) ➡ (降車)
 ※乗継ぎをした場合

1. 木津川市内		2. 木津川市外	
※施設名または所在地を教えてください		※所在地を教えてください(市・町まで記入)	
施設名()	)	府	市
所在地()			

1. 休日を含む毎日 2. 平日のみ毎日 3. 週3～4回 4. 週1～2回
5. 月2～3回程度 6. 月1回程度 7. その他()

1. 目的地まで早く行けるから 2. 経済的だから 3. 時間が正確だから
4. 気軽に利用できるから 5. 楽だから(疲れないから) 6. 安全に移動できるから
7. 他に交通手段がないから 8. その他()

質問4 バスの満足度についておたずねします

①きのつバス(木津地域コミュニティバス)について、それぞれの項目の満足度(5段階)に○をつけてください。

	非常に満足	どちらともいえない	非常に不満		非常に満足	どちらともいえない	非常に不満				
●運賃	5	4	3	2	1	●時刻表等の情報提供	5	4	3	2	1
●運賃割引の制度	5	4	3	2	1	●時刻表どおりに来る	5	4	3	2	1
●始発バスの時刻	5	4	3	2	1	●バス停標柱の見やすさ	5	4	3	2	1
●最終バスの時刻	5	4	3	2	1	●鉄道との乗り継ぎ	5	4	3	2	1
●運行本数	5	4	3	2	1	●バス同士の乗り継ぎ	5	4	3	2	1
●運行経路	5	4	3	2	1	●総合的な満足度	5	4	3	2	1

②きのつバス(木津地域コミュニティバス)について、不満に感じていることがあればご自由にお書きください。

例) 運賃が高い、路線が複雑でわかりにくい、乗り降りがしづらい、等

質問5 バス(予約型乗合タクシーを含む)の利用状況についておたずねします

①ここ数年のバス(予約型乗合タクシー含む)の利用回数に変化はありますか。(1つに○)

1. 利用回数が減った 2. 利用回数が増えた 3. あまり変わらない

利用回数が減ったとお答えの方にお聞きします。

利用回数が減った理由は何ですか。(最も近いもの1つに○をつけ、具体的な理由についてもお書きください)

【1つに○】

1. バスを使う用事が減った
2. 他に便利な移動手段ができた
3. 利用しづらい・不便になった
4. その他

【具体的な理由】

例) バス停まで歩くのが辛くなった、家族に送迎を頼んでいる、等

質問6 利用者サービスについておたずねします

①1日フリー乗車券についてお答えください。(1つに○)

※1日フリー乗車券とは、木津川市コミュニティバスの全ての路線で、当日のみどこへでも何度でも乗り放題になる乗車券です。

1. 利用している 2. 知っているが利用していない 3. 知らなかった

質問7 コミュニティバスの今後の必要性についておたずねします

①木津川市のコミュニティバスの今後の必要性について、あなたの考えをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. ないと生活に支障をきたすので必要 2. ないと外出の機会が減るので必要
3. 家族や知人が利用しているので必要 4. 地域の基盤として必要
5. 今は困らないが、高齢になった時など将来的に必要になる 6. なくても代わりの交通手段で移動できる
7. なくても全く困らない 8. わからない
9. その他()

最後に、木津川市の公共交通に関するご意見・ご要望がありましたらお聞かせください

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

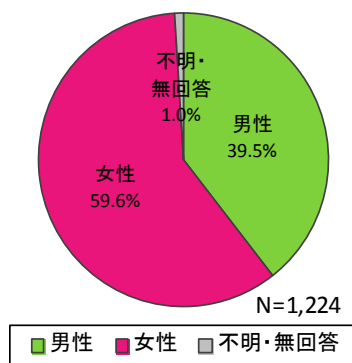
ご記入いただいたアンケート用紙は同封の返信用封筒にて、来る8月22日(金)までにご返送いただきますようお願いいたします。

2. 市民アンケート調査の結果概要

2.1 市民アンケートの回答者の属性について

2.1.1 性別

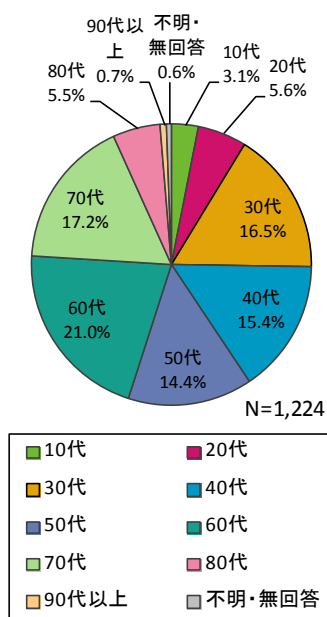
女性が6割を占める。



選択肢		回答数	割合 (%)
1	男性	483	39.5
2	女性	729	59.6
	不明・無回答	12	1.0
合 計		1,224	100

2.1.2 年齢

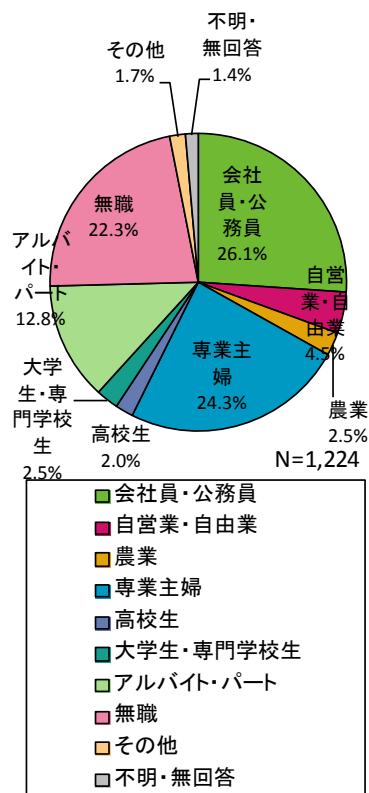
60代以上が4割、30～50代がそれぞれ2割を占める。



選択肢		回答数	割合 (%)
1	10代	38	3.1
2	20代	69	5.6
3	30代	202	16.5
4	40代	188	15.4
5	50代	176	14.4
6	60代	257	21.0
7	70代	211	17.2
8	80代	67	5.5
9	90代以上	9	0.7
	不明・無回答	7	0.6
合 計		1,224	100

2.1.3 職業

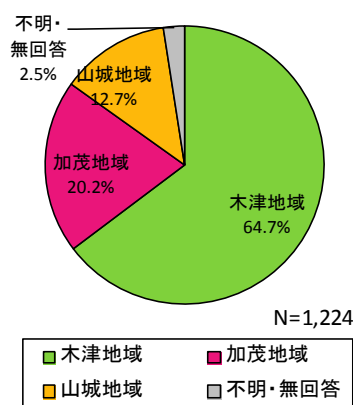
会社員が最も多く3割を占め、次に専業主婦、無職が多い。



	選択肢	回答数	割合 (%)
1	会社員・公務員	319	26.1
2	自営業・自由業	55	4.5
3	農業	31	2.5
4	専業主婦	297	24.3
5	高校生	24	2.0
6	大学生・専門学校生	30	2.5
7	アルバイト・パート	157	12.8
8	無職	273	22.3
9	その他	21	1.7
	不明・無回答	17	1.4
合 計		1,224	100

2.1.4 居住地域

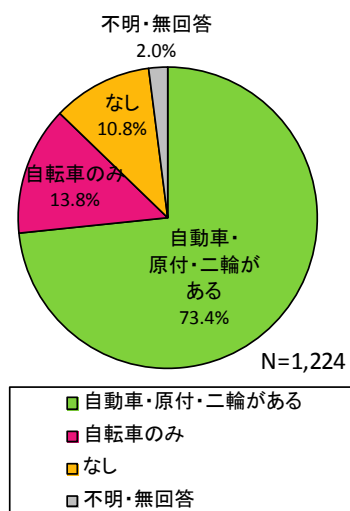
木津地域が6割を占める。



	選択肢	回答数	割合 (%)
1	木津地域	792	64.7
2	加茂地域	247	20.2
3	山城地域	155	12.7
	不明・無回答	30	2.5
合 計		1,224	100

2.1.5 自由に使える移動手段

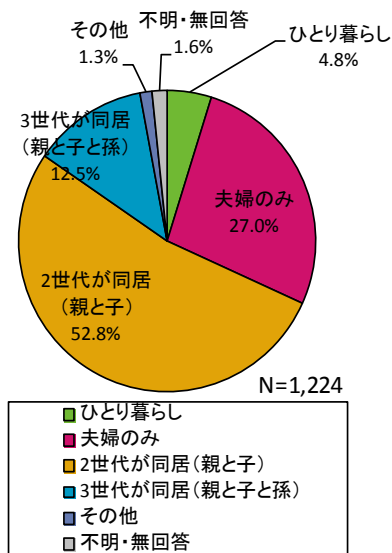
自動車・原付・二輪のいずれかを交通手段として自由に使える人が7割を占める。



	選択肢	回答数	割合 (%)
1	自動車・原付・二輪がある	898	73.4
2	自転車のみ	169	13.8
3	なし	132	10.8
4	不明・無回答	25	2.0
	合 計	1,224	100

2.1.6 同居の家族

2世代が同居(親と子)している家族が最も多く半数を占め、次に夫婦のみの家族が3割と多い。

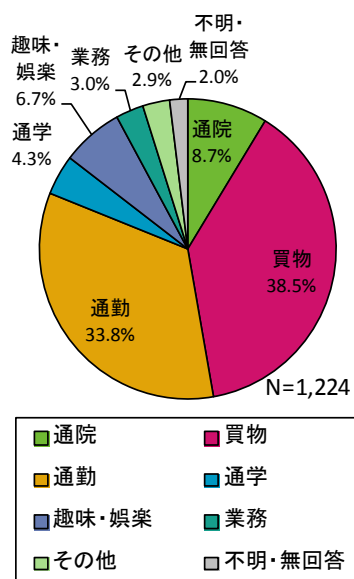


	選択肢	回答数	割合 (%)
1	ひとり暮らし	59	4.8
2	夫婦のみ	330	27.0
3	2世代が同居(親と子)	646	52.8
4	3世代が同居(親と子と孫)	153	12.5
5	その他	16	1.3
	不明・無回答	20	1.6
	合 計	1,224	100

2.2 普段の外出（おでかけ）について

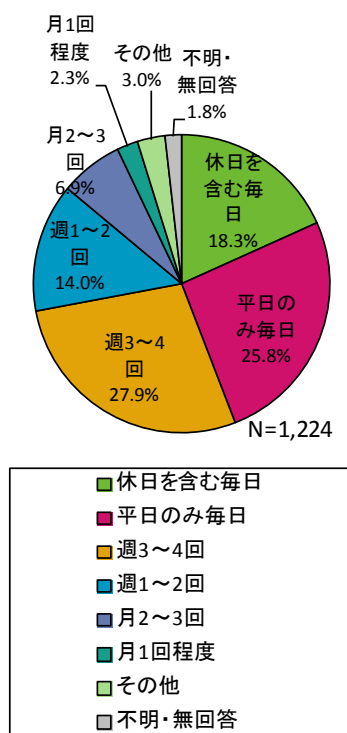
2.2.1 普段最も多く外出する目的・頻度・行き先

外出目的は買い物が4割と最も多い。次に通勤が多く3割を占める。



選択肢		回答数	割合 (%)
1	通院	107	8.7
2	買物	471	38.5
3	通勤	414	33.8
4	通学	53	4.3
5	趣味・娯楽	82	6.7
6	業務	37	3.0
7	その他	36	2.9
	不明・無回答	24	2.0
合 計		1,224	100

外出する頻度は、週3～4回、平日のみ毎日が3割ずつ、休日を含む毎日が2割を占め、多くの人が週の半分以上外出している。

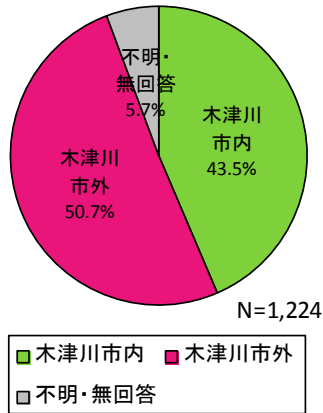


選択肢		回答数	割合 (%)
1	休日を含む毎日	224	18.3
2	平日のみ毎日	316	25.8
3	週3～4回	342	27.9
4	週1～2回	171	14.0
5	月2～3回	84	6.9
6	月1回程度	28	2.3
7	その他	37	3.0
	不明・無回答	22	1.8
合 計		1,224	100

木津川市内・市外が半数ずつ占める。

市内は、商業施設を行き先とする人が多く、買い物目的が多いことが伺える。

市外は、奈良市が最も多く、次に京都市、大阪市が多い。



選択肢		回答数	割合 (%)
1	木津川市内	533	43.5
2	木津川市外	621	50.7
	不明・無回答	70	5.7
合 計		1,224	100

※目的地

分類	施設名	回答数
医療施設	京都山城総合医療センター	30
	その他医療施設	25
商業施設	イオンモール高の原	114
	ガーデンモール木津川	66
	アル・プラザ木津	53
	サンディ木津店	23
	平和堂	13
	スーパー中村屋木津店	20
	フレンドマート	9
	近商ストア	17
	ハーベス木津川台店	9
	サンフレッシュ加茂店	7
	グルメシティ加茂店	6
	その他商業施設	33
鉄道駅	JR木津駅	5
	近鉄山田川駅	0
	近鉄高の原駅	2
	JR加茂駅	1
	その他鉄道駅	3
公共施設	木津川市役所	6
	その他公共施設	20
勤務先		12
学校		5
保育園・幼稚園		13
郵便局		4
金融機関		3
その他		18
不明・無回答		80
合計		597

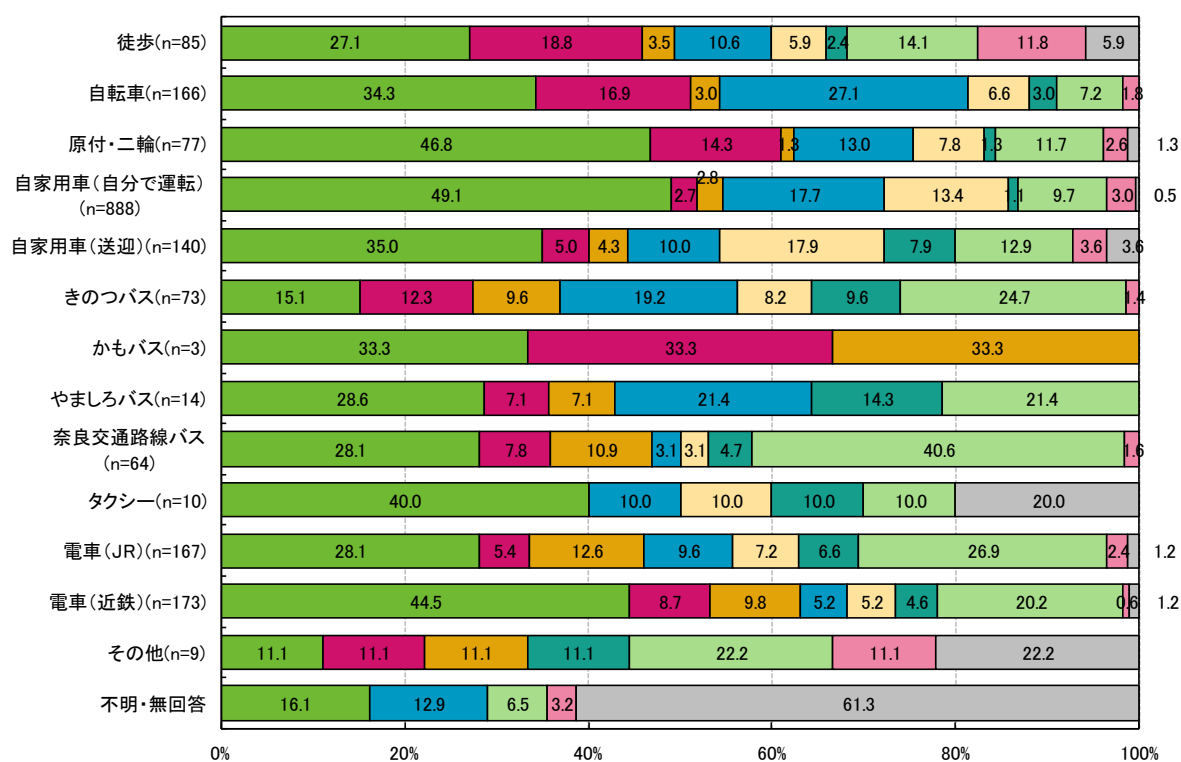
府県名	市町村名	回答数
京都府	京都市	85
	相楽郡精華町	58
	京田辺市	32
	城陽市	13
	宇治市	12
	八幡市	0
	その他京都府	23
奈良県	奈良市	201
	大和郡山市	10
	生駒市	9
	天理市	6
	その他奈良県	25
大阪府	大阪市	81
	東大阪市	13
	その他大阪府	30
滋賀県		7
その他		6
不明・無回答		10
合計		621

2.2.2 利用する交通手段と、利用する主な理由

すべての交通手段において、「目的地まで最も早く行けるから」が多くの割合を占め、特に徒歩や自転車、自家用車等、個人で移動可能な交通手段については、その傾向が強い。

きのつバスや電車(近鉄)等の公共交通については、「他に交通手段がないから」の割合も多い。

このことから、移動時間が短いものを優先度の高い交通手段として選択しており、公共交通については、他に交通手段がないとの理由により選択を余儀なくされていることが伺える。



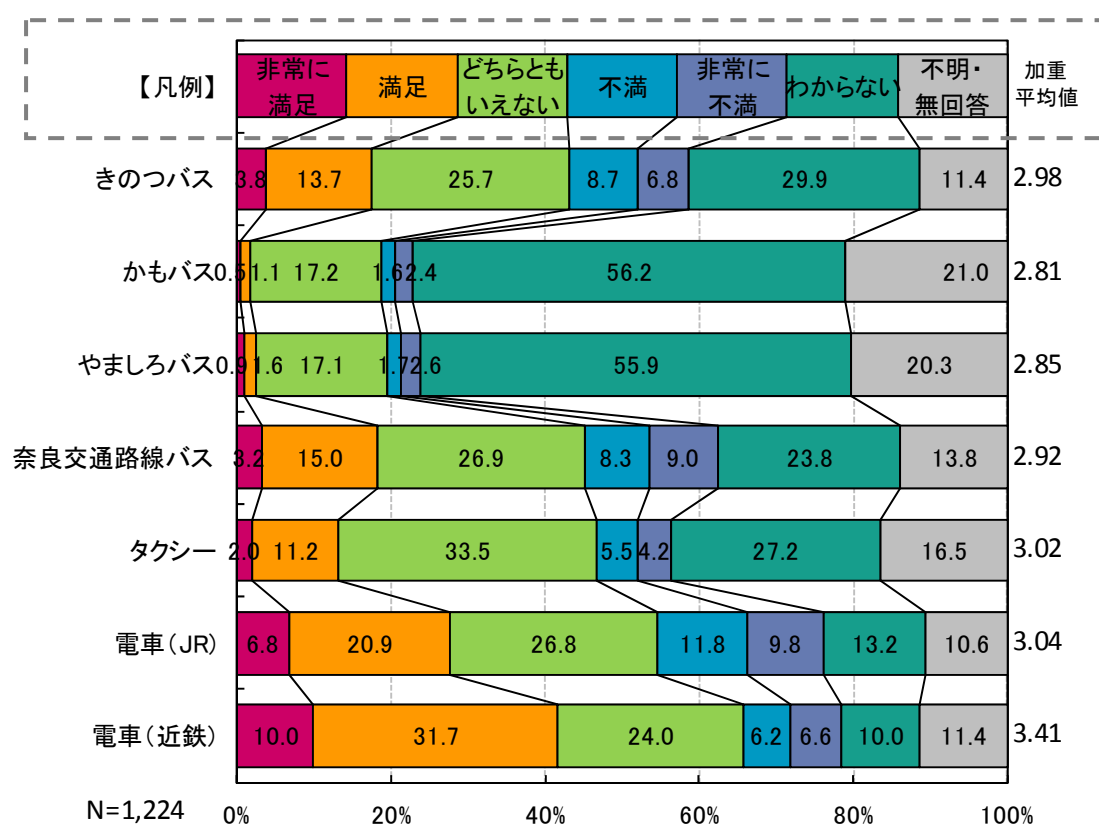
- 目的地まで最も早く行けるから
- 経済的だから
- 時間が正確だから
- 気軽に利用できるから
- 楽だから(疲れないから)
- 安全に移動できるから
- 他に交通手段がないから
- その他
- 不明・無回答

2.3 市内で運行する公共交通の満足度について

2.3.1 市内で運行している公共交通の満足度

電車(近鉄)が、交通手段の中で、最も満足度が高く、かもバス・やましろバスが最も低い評価となっている。

かもバスおよびやましろバスについては、「わからない」が最も多く、半数以上を占めており、利用したことがない人の割合が多いことが伺える。

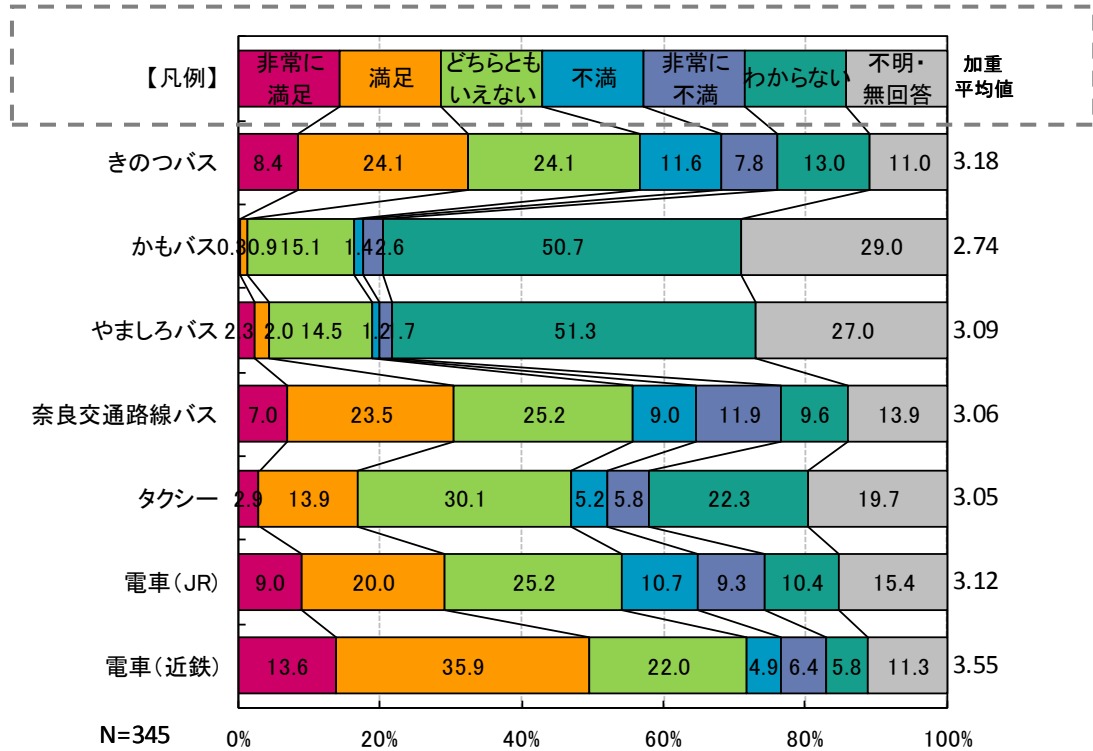


	選択肢	非常に満足	満足	どちらともいえない	不満	非常に不満	わからない	不明・無回答	合 計	加重平均値
回答数	きのつバス	46	168	315	107	83	366	139	1,224	2.98
	かもバス	6	14	210	20	29	688	257	1,224	2.81
	やましろバス	11	19	209	21	32	684	248	1,224	2.85
	奈良交通路線バス	39	184	329	102	110	291	169	1,224	2.92
	タクシー	24	137	410	67	51	333	202	1,224	3.02
	電車(JR)	83	256	328	145	120	162	130	1,224	3.04
	電車(近鉄)	122	388	294	76	81	123	140	1,224	3.41

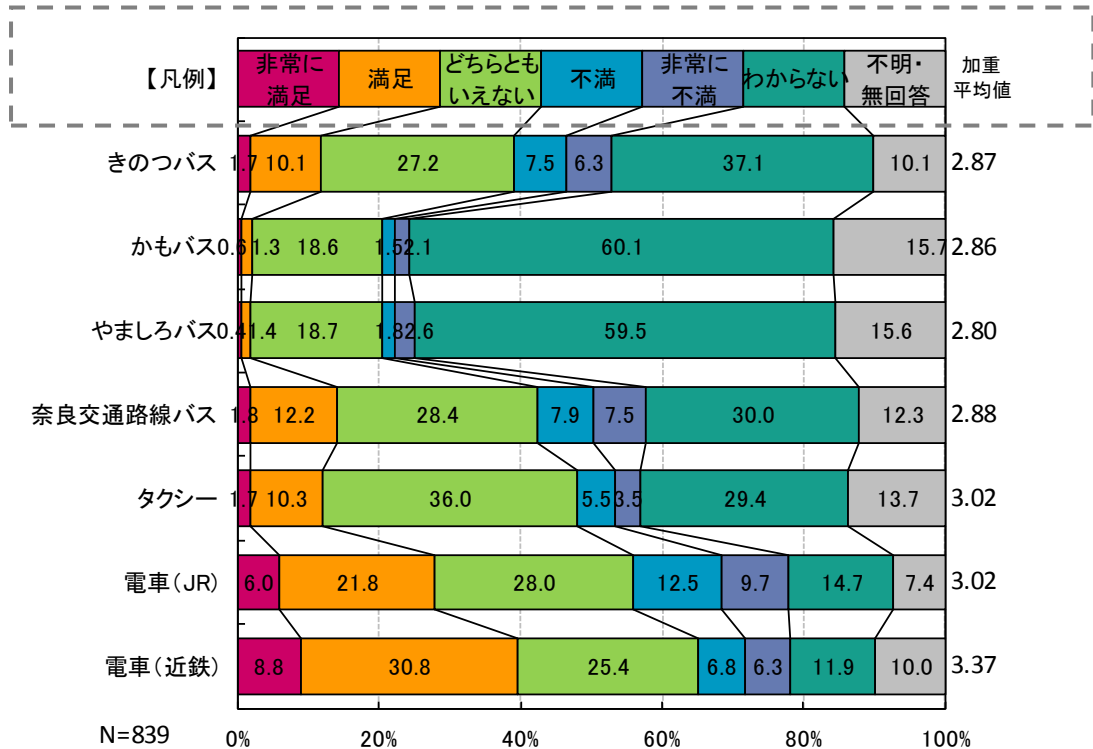
※加重平均値は、「非常に満足」=5点、「満足」=4点、「どちらでもない」=3点、「不満」=2点、「非常に不満」=1点、として算出

普段のバス利用の有無別にみると、バスを利用している層(上)に比べ、利用していない層(下)において、どちらともいえない・わからないとの回答が多くなるとともに、満足・不満評価はいずれも減少している。また、かもバスにおいては、利用者満足度(※加重平均値)が、非利用者満足度を下回っている。

■市内のバスを利用している方の回答



■市内のバスを利用していない方の回答



2.3.2 市内で運行している公共交通に対して、不満に感じる内容・理由（複数回答）

件数としては、JR、きのつバス、奈良交通路線バスに対する不満が多くなっている。

きのつバスや奈良交通路線バスは、「運行本数が少ない」、「運賃が高い」との不満が多い。

かもバスは、運行本数に加えて「予約が面倒」、「路線の延長・新設」との不満が多い。

やましるバスは、「土日・祝日の運休」に対する不満が多く、次いで路線の延長や運行本数が続いている。

タクシーは、「台数が少ない」との不満が多い。

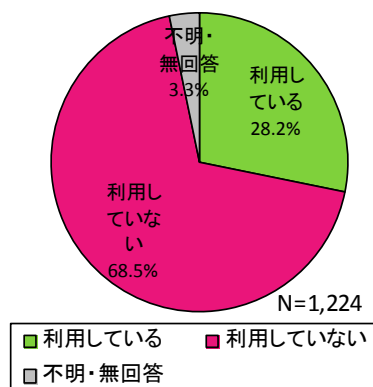
電車は、近鉄は「駅までのアクセスが不便」、「運行本数が少ない」との不満が多く、JRは「運行本数が少ない」、「駅までのアクセスが不便」、「連絡が悪い」、「よく止まる、遅れる」との不満が多い。

選択肢	きのつバス	かもバス	やましるバス	奈良交通路線バス	タクシー	電車（JR）	電車（近鉄）	計
運行本数が少ない	124	9	6	94	0	140	25	398
朝夕の運行本数が少ない	6	0	1	9	0	3	5	24
早朝運行がない	10	0	2	9	5	3	0	29
夜間運行がない	30	1	2	32	6	4	5	80
運賃が高い	37	4	2	54	16	7	5	125
割引がほしい	2	0	0	1	0	0	0	3
ルートが遠回りで時間がかかる	26	0	2	9	0	0	0	37
ルートがわかりづらい	5	1	1	3	0	0	0	10
鉄道との乗り継ぎが悪い	12	0	0	11	0	3	2	28
バス停の整備	2	0	2	5	0	0	0	9
土日祝日運行の見直し	3	1	7	10	0	0	1	22
路線の延長・新設	3	5	6	17	0	0	8	39
予約が面倒	0	5	3	0	0	0	0	8
台数が少ない	0	0	0	0	26	0	0	26
接客態度	0	0	0	1	14	0	0	15
複線化	0	0	0	0	0	20	0	20
よく止まる、遅れる	0	0	1	2	0	38	6	47
新駅の設定	0	0	0	0	0	9	1	10
連絡が悪い	0	0	0	0	0	41	13	54
駅までのアクセスが不便	0	0	0	0	0	45	50	95
駅の整備	0	0	0	0	0	10	7	17
急行が停まらない	0	0	0	0	0	0	17	17
その他	32	11	4	20	4	11	18	100
	292	37	39	277	71	334	163	1,213

2.4 市内のバス交通について

2.4.1 普段の木津川市内のバス（予約型乗合タクシー含む）の利用状況

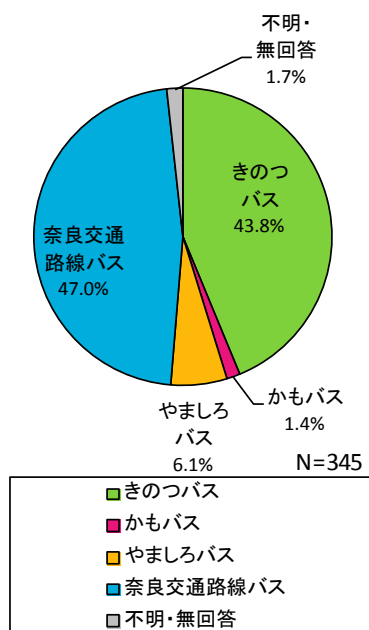
普段の利用は、「利用していない」が7割を占める。



選択肢	回答数	割合 (%)
1 利用している	345	28.2
2 利用していない	839	68.5
不明・無回答	40	3.3
合 計	1,224	100

2.4.2 （利用者に対する）最もよく利用する路線と利用の状況

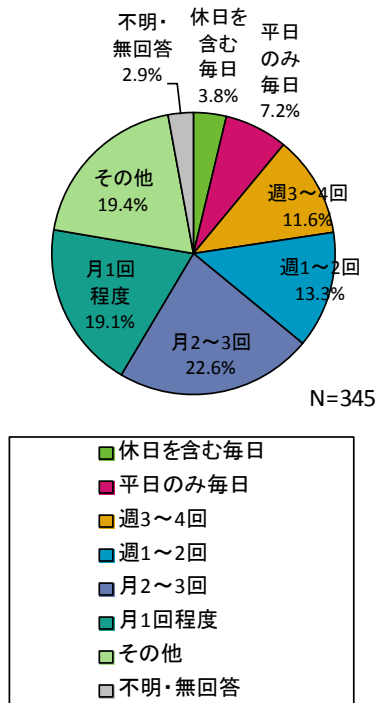
木津川市内のバス（予約型乗合タクシー含む）のうち、最もよく利用する路線は、奈良交通路線バスときのつバスが4割ずつ占める。



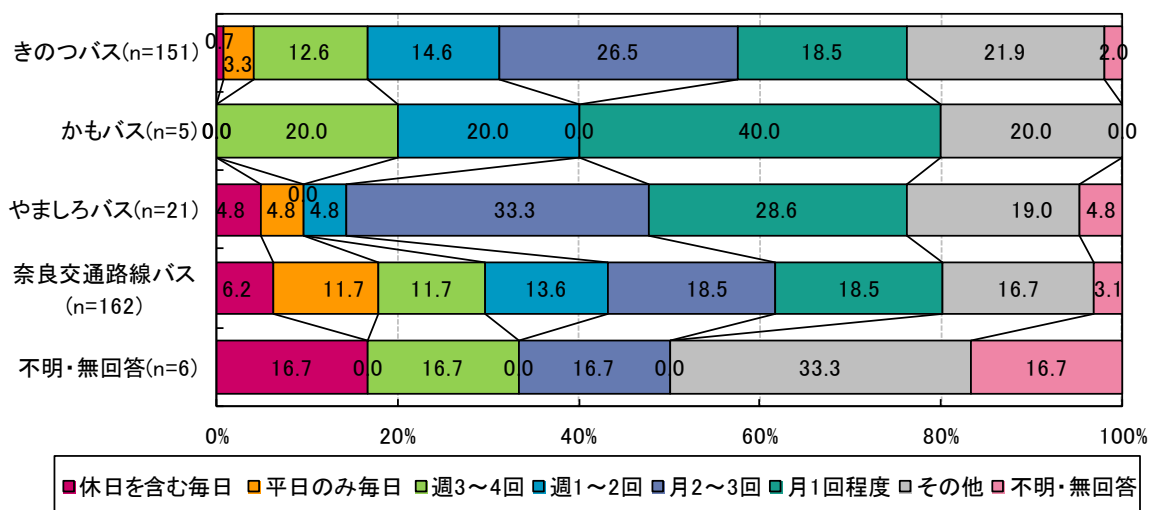
選択肢	回答数	割合 (%)
1 きのつバス	151	43.8
2 かもバス	5	1.4
3 やましるバス	21	6.1
4 奈良交通路線バス	162	47.0
不明・無回答	6	1.7
合 計	345	100

利用頻度は月2～3回未満の利用が4割を占め、よく利用されているとは言い難いこと伺える。

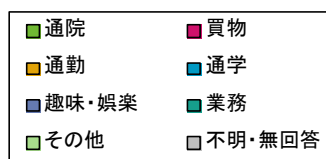
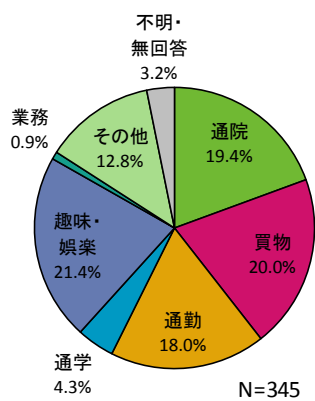
利用バス別にみると、やましろバス・奈良交通路線バスにおいて、毎日利用との回答の割合が多くなっている。



選択肢		回答数	割合 (%)
1	休日を含む毎日	13	3.8
2	平日のみ毎日	25	7.2
3	週3～4回	40	11.6
4	週1～2回	46	13.3
5	月2～3回	78	22.6
6	月1回程度	66	19.1
7	その他	67	19.4
不明・無回答		10	2.9
合 計		345	100

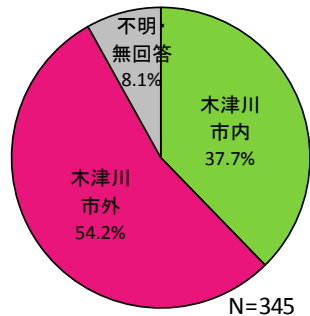


利用目的は通院、買い物、通勤、趣味・娯楽が2割ずつ占め、主要な目的となっている。



選択肢		回答数	割合 (%)
2	通院	67	19.4
3	買物	69	20.0
4	通勤	62	18.0
5	通学	15	4.3
6	趣味・娯楽	74	21.4
7	業務	3	0.9
8	その他	44	12.8
	不明・無回答	11	3.2
合 計		345	100

目的地は木津川市外が5割以上を占め、うち奈良市が最も多く、次に大阪市、京都市が多い。



■ 木津川市内 ■ 木津川市外
□ 不明・無回答

選択肢	回答数	割合 (%)
2 木津川市内	130	37.7
3 木津川市外	187	54.2
不明・無回答	28	8.1
合 計	345	100

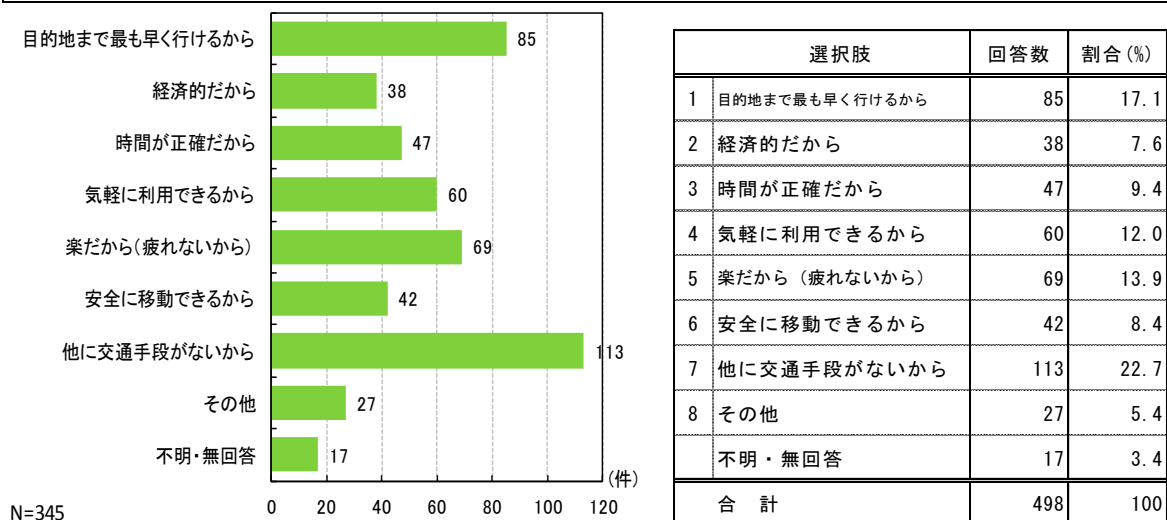
※目的地

分類	施設名	回答数
医療施設	京都山城総合医療センター	15
	その他医療施設	6
商業施設	イオンモール高の原	7
	アル・プラザ木津	6
	その他商業施設	1
鉄道駅	JR木津駅	4
	近鉄山田川駅	3
	近鉄高の原駅	2
	JR加茂駅	1
	その他鉄道駅	2
公共施設	木津川市役所	7
	その他公共施設	2
勤務先		1
自宅		4
その他		3
不明・無回答		16
合 計		80

府県名	市町村名	回答数
京都府	京都市	17
	相楽郡精華町	3
	城陽市	1
	宇治市	1
奈良県	奈良市	56
	生駒市	2
	天理市	1
	その他奈良県	1
大阪府	大阪市	28
	東大阪市	1
	その他大阪府	1
その他		1
不明・無回答		0
合 計		113

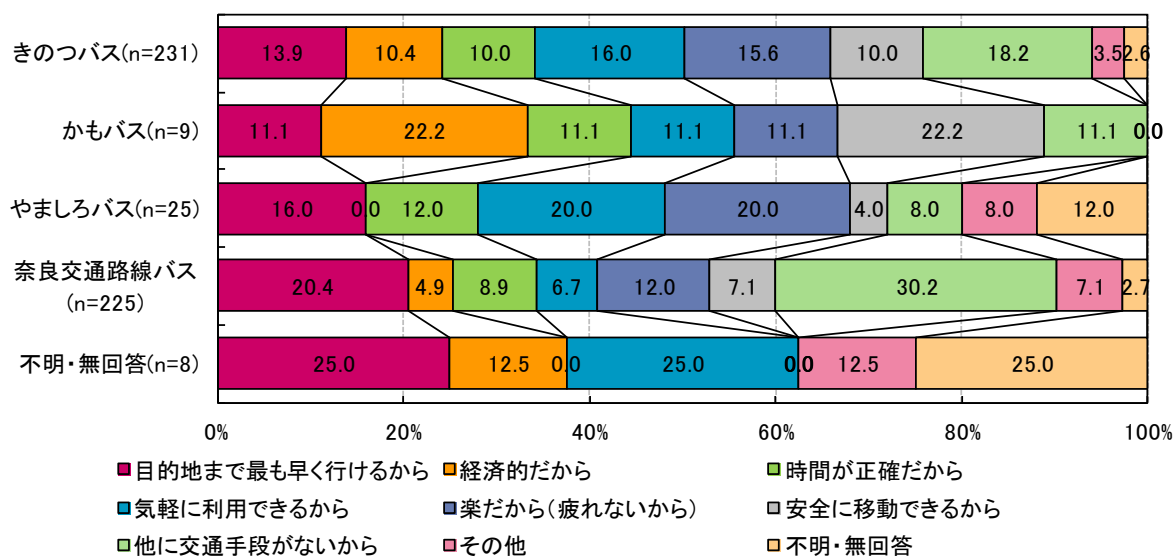
2.4.3 公共交通を利用する理由（複数回答）

利用する理由は、「他に交通手段がないから」が最も多く、次に「目的地まで最も早く行けるから」が多い。特に木津川市外を行き先とする場合、公共交通を利用した方が便利だと感じている人が多いことが伺える。



きのつバスおよび奈良交通路線バスとも、「他に交通手段がないから」が最も多く、他に「目的地まで最も早く行けるから」「楽だから（疲れないから）」が多い。

このことから、特にきのつバス・奈良交通路線バス利用者は、自家用車の運転ができない人が利用していることが伺える。また、バスのメリットである、移動時間が短いことや疲れないことが利用に結びついていることが伺える。



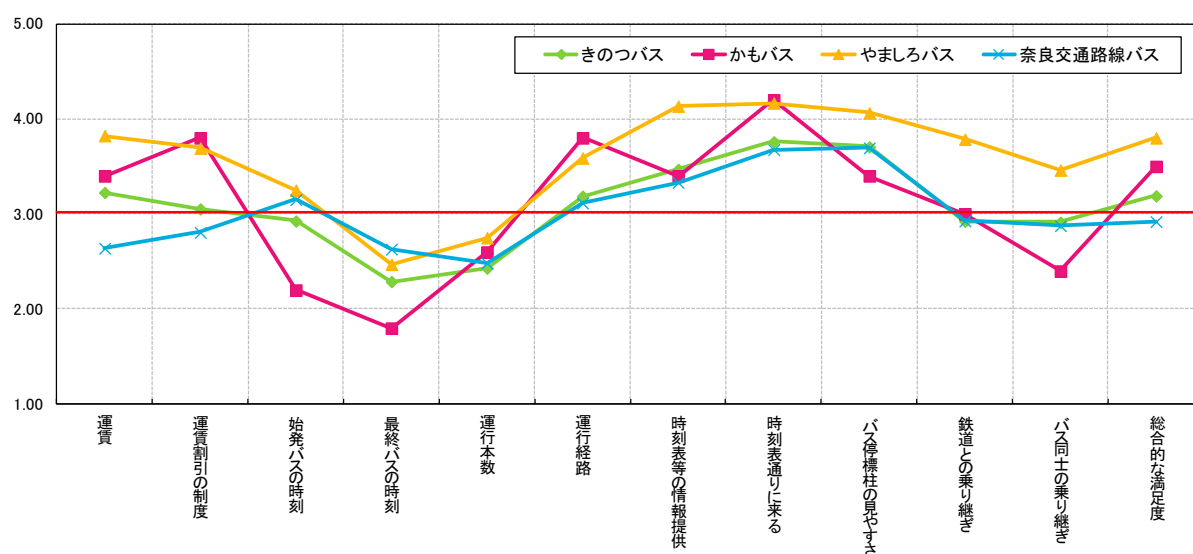
2.4.4 最もよく利用する路線の満足度

4つのバスのうち、やましろバスの満足度が比較的高い。これは、福祉バスからコミュニティバスへ移行し、サービスレベルを向上させたことに加え、ワークショップ等の利用促進活動が、少しずつ結果としてあらわれていることが伺える。

きのつバスについては多くの項目でかもバス・やましろバスに比較して満足度が低くなっている。

かもバスは、始発・終発バスの時刻やバス同士の乗継において、特に低い評価となっている。

また、すべてのバスにおいて、「時刻表通りに来る」との満足度が最も高く、定時性が確保されていることが伺える。



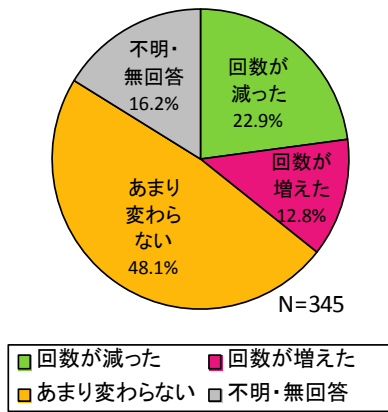
選択肢	運賃	運賃割引の制度	始発バスの時刻	最終バスの時刻	運行本数	運行経路	時刻表等の情報提供	時刻表通りに来る	バス停標柱の見やすさ	鉄道との乗り継ぎ	バス同士の乗り継ぎ	総合的な満足度
きのつバス	3.23	3.05	2.93	2.29	2.43	3.19	3.47	3.76	3.71	2.92	2.91	3.19
かもバス	3.40	3.80	2.20	1.80	2.60	3.80	3.40	4.20	3.40	3.00	2.40	3.50
やましろバス	3.82	3.69	3.25	2.47	2.75	3.59	4.13	4.17	4.06	3.79	3.46	3.80
奈良交通路線バス	2.64	2.81	3.15	2.63	2.48	3.11	3.33	3.68	3.70	2.93	2.88	2.92

※満足度は、「非常に満足」=5点、「満足」=4点、「どちらでもない」=3点、「不満」=2点、「非常に不満」=1点、として算出

2. 4. 5 バスの利用回数の変化と減少理由

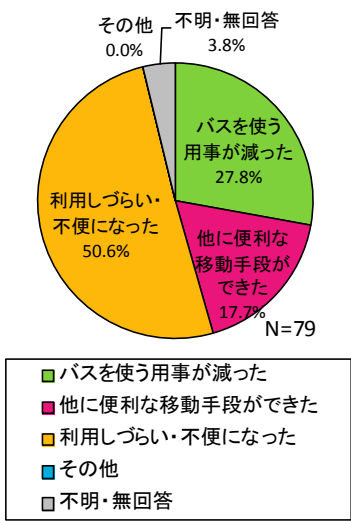
■ 「市内のバスを利用している」と回答した層（345 件）に対して

利用回数は、「あまり変わらない」が最も多く半数を占めるものの、「回数が減った」が 2 割を占める。



選択肢		回答数	割合 (%)
1	回数が減った	79	22.9
2	回数が増えた	44	12.8
	あまり変わらない	166	48.1
	不明・無回答	56	16.2
合 計		345	100

回数が減った理由に関しては、「利用しづらい・不便になった」が半数を占め、その理由として、バス交通のサービス(運賃・運行本数)の見直しがあげられている。

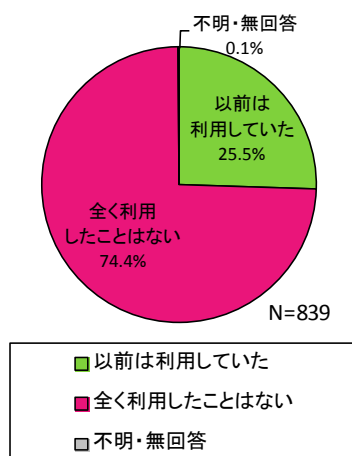


選択肢		回答数	割合 (%)
1	バスを使う用事が減った	22	27.8
2	他に便利な移動手段ができた	14	17.7
3	利用しづらい・不便になった	40	50.6
4	その他	0	0.0
	不明・無回答	3	3.8
合 計		79	100

2.4.6 バス利用を止めた理由

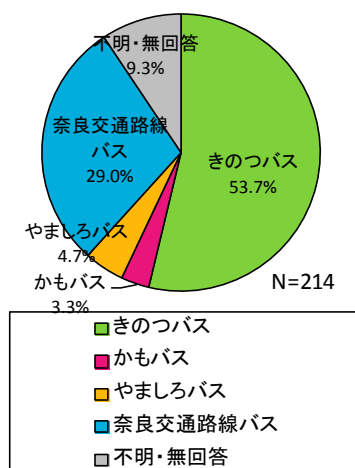
■ 「市内のバスを利用していない」と回答した層（839 件）に対して

現在利用していない回答者の 3 割が以前は利用しており、何らかの理由で利用を中止している。



選択肢		回答数	割合 (%)
1	以前は利用していた	214	25.5
2	全く利用したことはない	624	74.4
	不明・無回答	1	0.1
合 計		839	100

利用をやめたバスの内訳では、きのつバスが半数を占める。

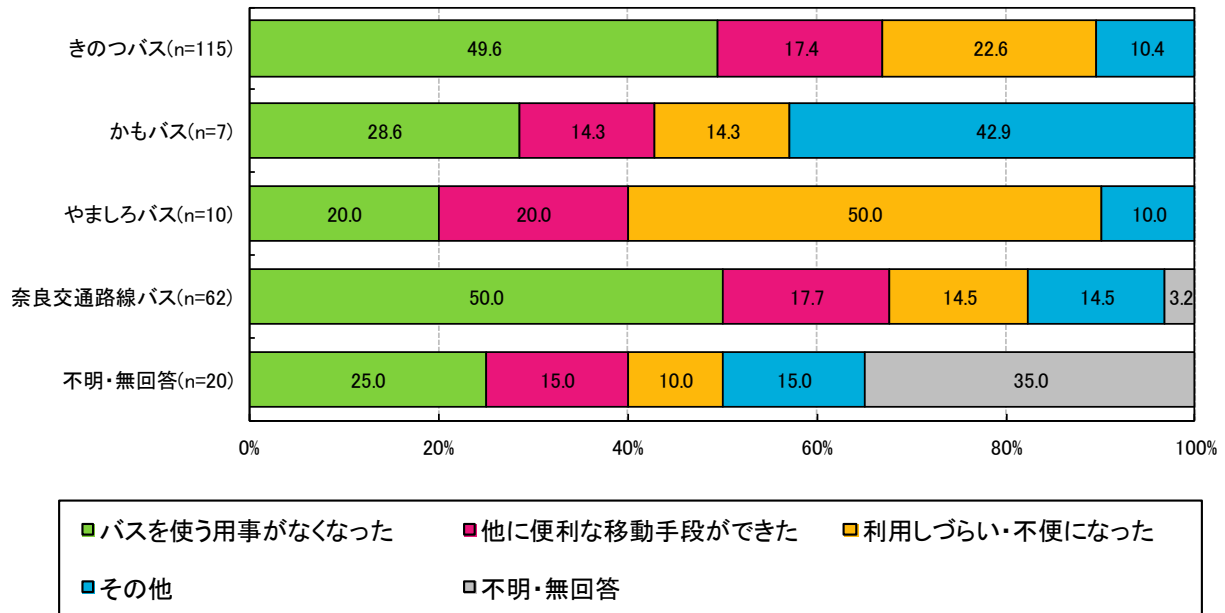


選択肢		回答数	割合 (%)
1	きのつバス	115	53.7
2	かもバス	7	3.3
3	やましろバス	10	4.7
4	奈良交通路線バス	62	29.0
	不明・無回答	20	9.3
合 計		214	100

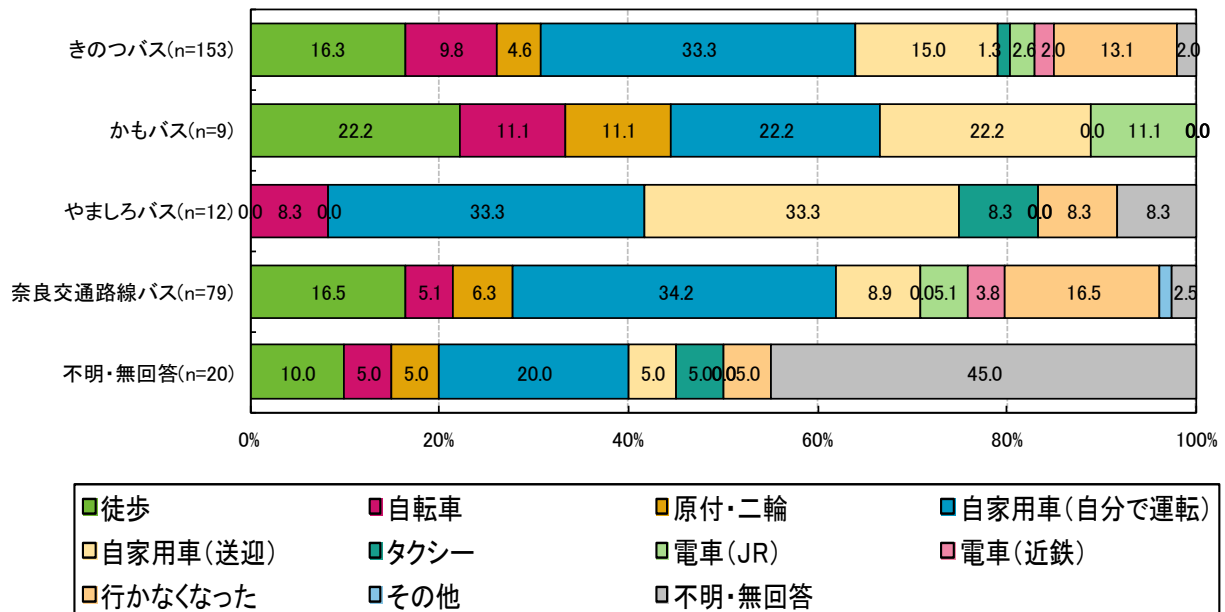
きのつバスおよび奈良交通路線バスの利用を止めた理由としては、「バスを使う用事がなくなった」が半数を占める。

利用を止めた現在の移動手段としては、自家用車(自分で運転)が最も多く 3 割を占め、次に徒歩が 2 割を占める。

■路線別の利用中止理由



■現在の移動手段（複数回答）

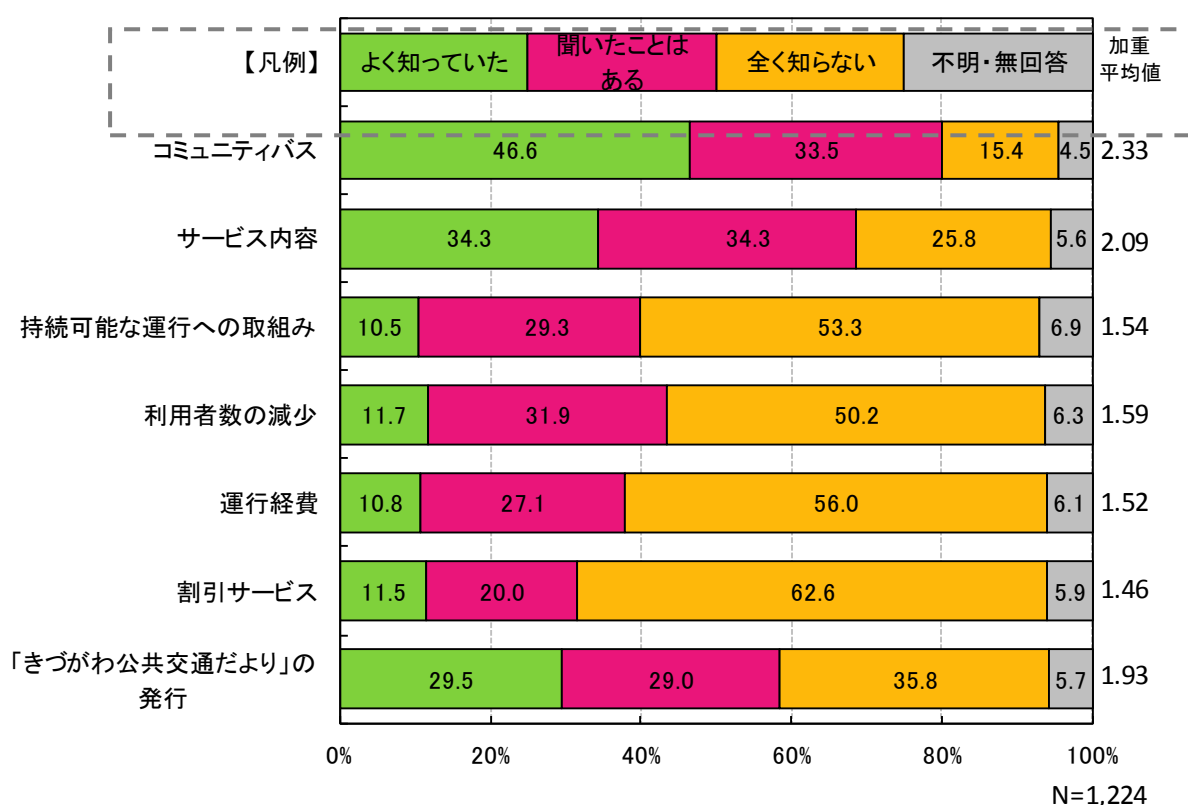


2.5 木津川市内のコミュニティバスの認知度について

2.5.1 コミュニティバスに関する認知度

コミュニティバスとサービス内容について、「よく知っていた」「聞いたことはある」との回答の割合が高く、コミュニティバスそのものの認知度は高いことが伺える。また、「きづがわ公共交通だより」の発行自体についても、ある程度の認知度がある。

しかし、上記以外の項目については「全く知らない」が半数以上を占めており、きづがわ公共交通だよりに掲載しているコミュニティバスの詳細については認知度が低いことが伺える。

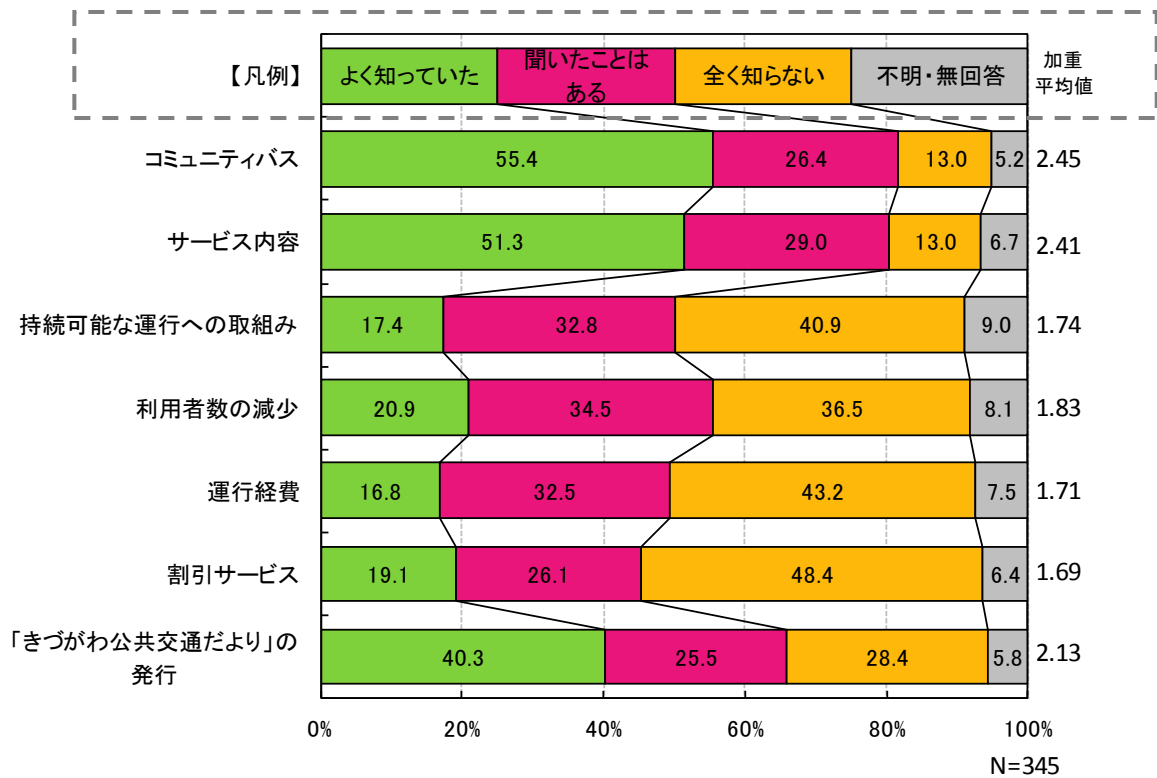


	選択肢	よく知っていた	聞いたことはある	全く知らない	不明・無回答	合計	加重平均値
回答数	コミュニティバス	570	410	189	55	1,224	2.33
	サービス内容	420	420	316	68	1,224	2.09
	持続可能な運行への取組み	128	359	652	85	1,224	1.54
	利用者数の減少	143	390	614	77	1,224	1.59
	運行経費	132	332	685	75	1,224	1.52
	割引サービス	141	245	766	72	1,224	1.46
	「きづがわ公共交通だより」の発行	361	355	438	70	1,224	1.93

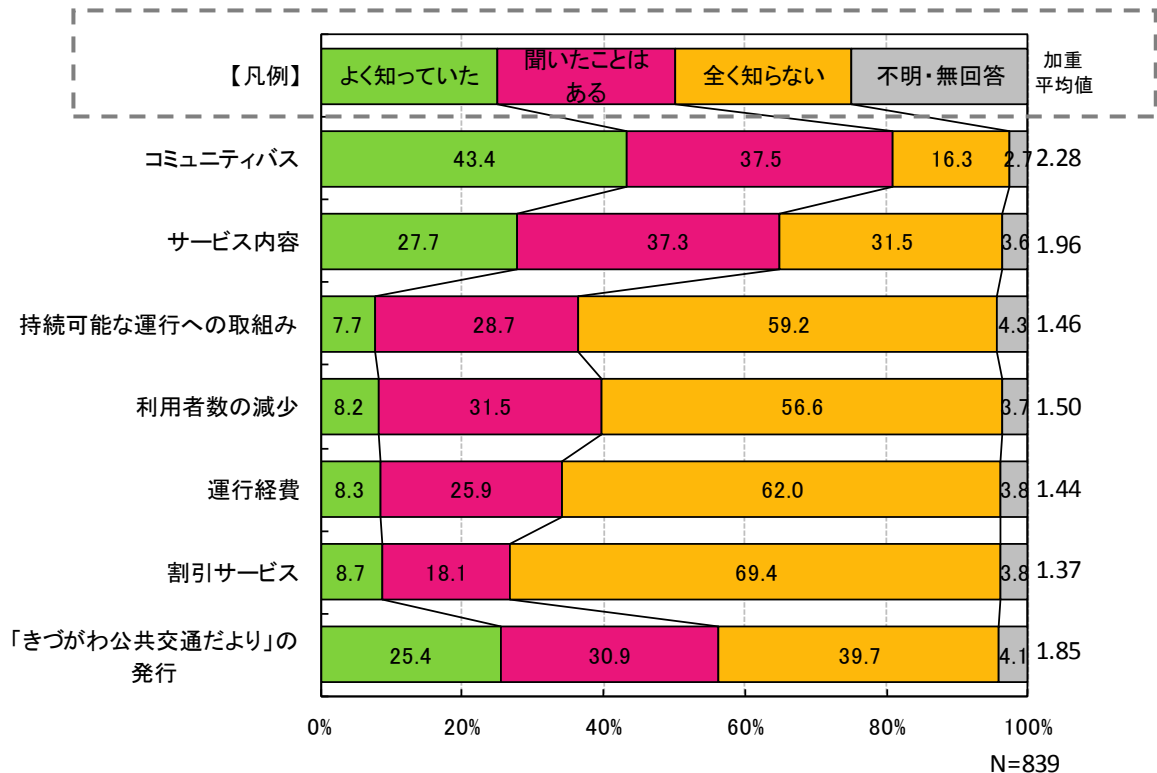
※加重平均値は、「よく知っていた」=3点、「聞いたことはある」=2点、「全く知らない」=1点、として算出

普段のバス利用の有無別にみると、バスを利用している層(上)に比べ、利用していない層(下)において全体的に認知度が低く、特に持続可能な運行への取組み、利用者数の減少、運行経費、割引サービスといった項目において顕著である。

■市内のバスを利用している方の回答

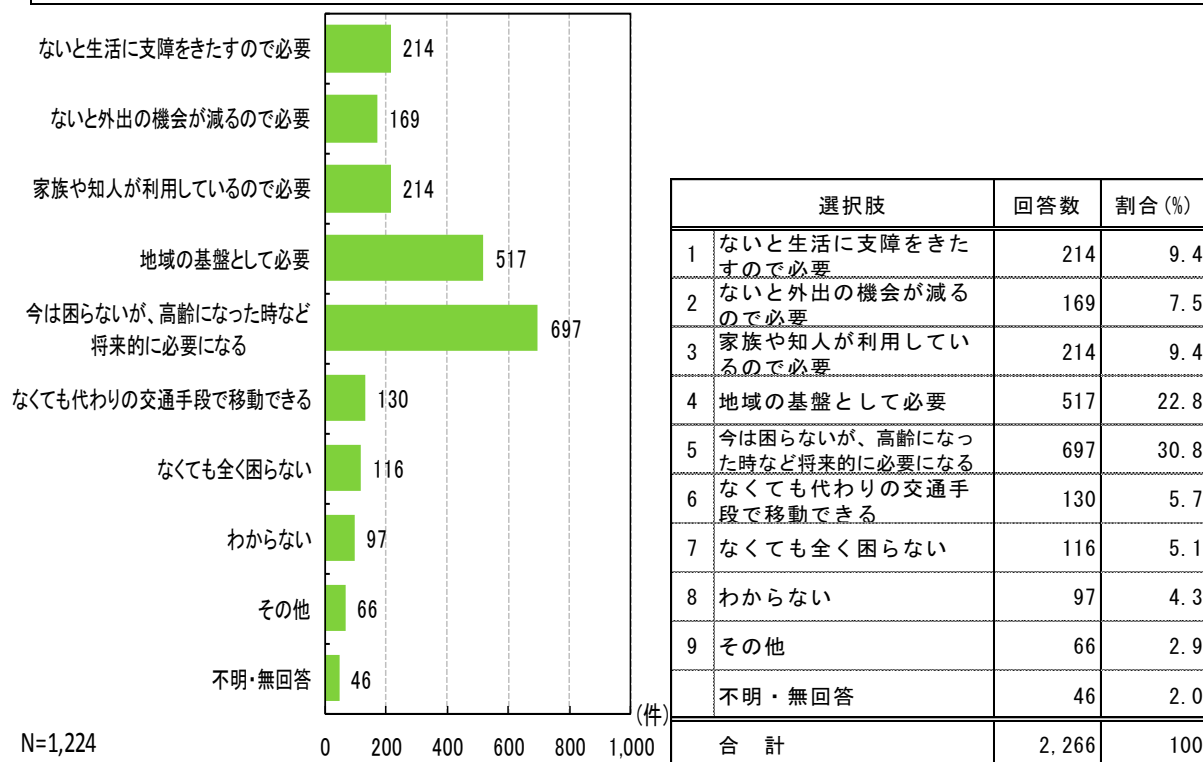


■市内のバスを利用していない方の回答



2.5.2 コミュニティバスの今後の必要性（複数回答）

「今は困らないが、高齢になった時など将来的に必要なになる」が最も多く、次に「地域の基盤として必要」が多い。このことから、コミュニティバスについて必要性を感じている人が多いことが伺えるが、現状は困っていないとの回答に見られるように、短期的な利用・転換の可能性は高くないと考えられる。

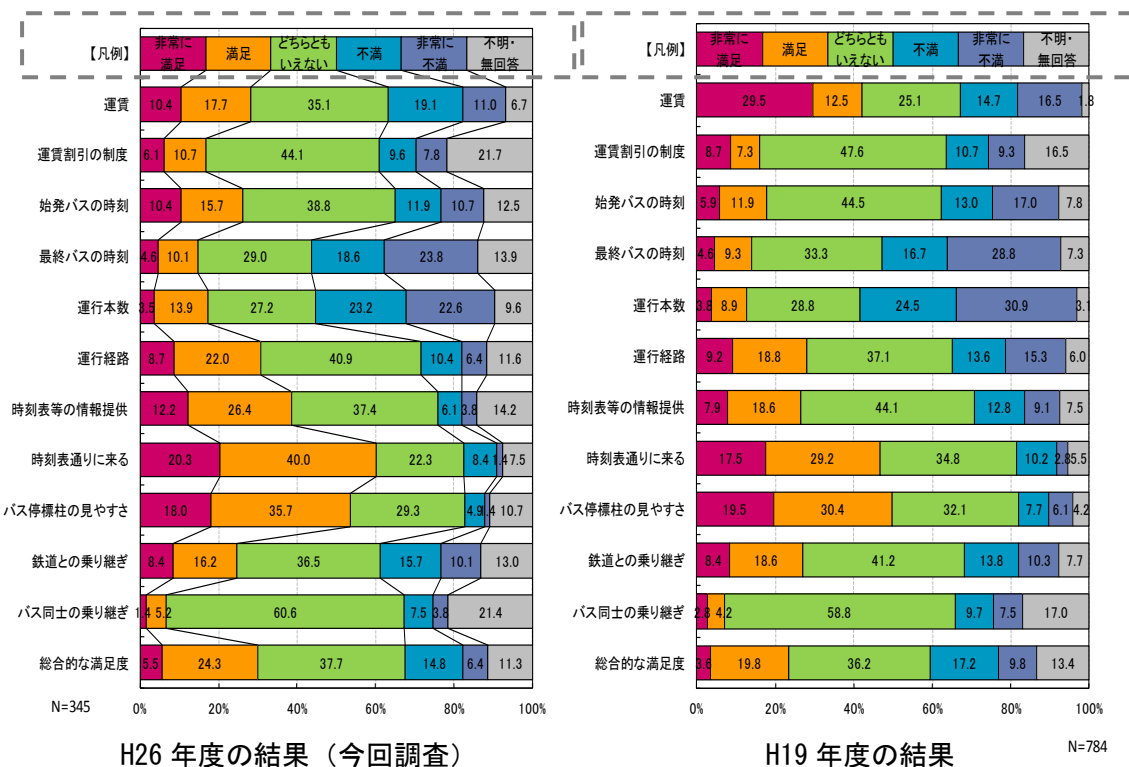


2.6 平成 19 年度調査からの満足度の変化（バス利用者を対象とした満足度）

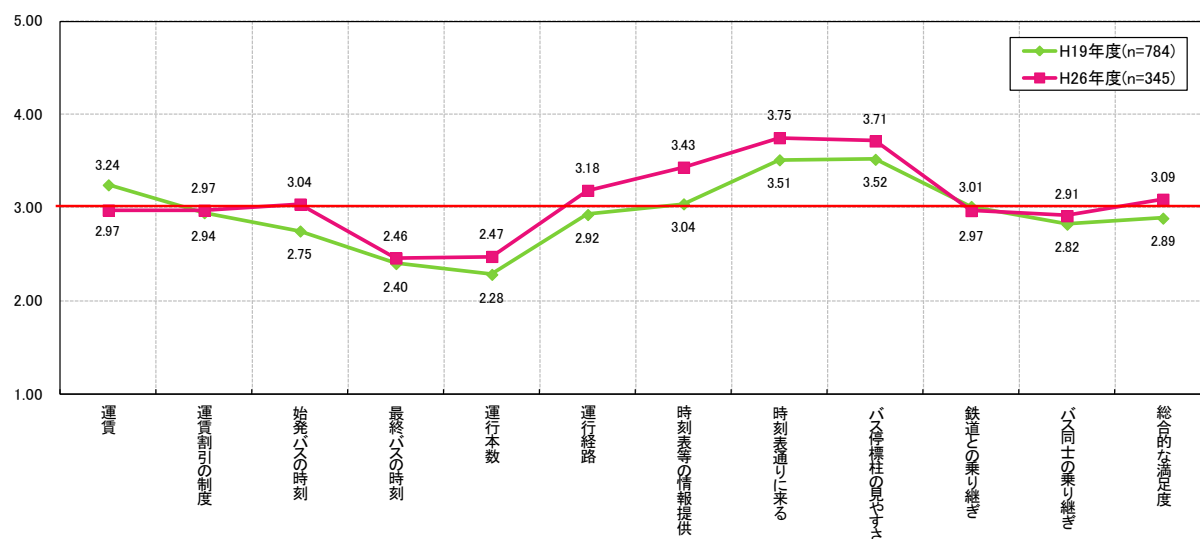
運賃を除くすべての項目において、評価の分布では、「非常に満足」および「満足」との割合が増加し、加重平均値においても値を上回っていることから、満足度が増加したことが伺える。

運賃については、持続可能な運行を実現するため、運賃が値上がった地域があることから、満足度が減少していることが伺える。

■評価の分布（左図：平成 26 年度、右図：平成 19 年度）



■加重平均値



2.7 木津川市の公共交通に関する意見・要望について（複数回答）

2.7.1 意見・要望の全体像

■ 意見・要望の内訳

No	選択肢	回答数
1	コミュニティバスは必要である	102
2	バスの運行本数を増やす	74
3	バス料金の値下げ	29
4	不便なバス路線の変更	27
5	割引制度の導入	26
6	他市町村への乗入れ	22
7	コミュニティバスの経費面の工夫	21
8	主要施設への直行便	18
9	デマンドバス（利用者の要望に応じて走るバス）や乗合タクシーなどの新しい交通システム	16
10	コミュニティバスの一部廃止、または全面廃止にすべき	16
11	バスの夜間運行時刻の延長	14
12	バス停の拡充	14
13	時刻表、料金、路線図、乗換え案内等の情報提供（総合交通マップの配布など）	12
14	道路の整備	12
15	JRの複線化	10
16	新駅の設置	10
17	鉄道の運行本数を増やす	9
18	まちづくりに関して	9
19	新規バス路線等の実証運行	8
20	バスと鉄道の乗換えが短時間にスムーズにできる	7
21	駅の整備	4
22	バス停の整備	4
23	遅延が多い	4
24	鉄道同士の乗り換えが短時間にスムーズにできる	3
25	バスや鉄道の相互で乗り継ぎ可能なICカードの導入	2
26	バス停に何分後にバスが到着するのかを表示するシステムの導入	1
27	その他	28
28	わからない・使っていない	16
29	記述なし	781
合計		1,299

※1 回答者が複数の意見を記入の場合、各意見項目にそれぞれ計上しているため、記述数合計とアンケート回収数とは一致しない。

2.7.2 代表的な意見（抜粋）

① コミュニティバスは必要である

- 働いている私にとっても 70 代の両親にとってもバスを利用できるのはとても助かっています。バスを利用して仕事や買い物に行くことは生活の一部になっているので運行経費などいろいろと大変なこともあると思いますがなくならずずっと利用できればいいなと思います。
- 木津川市として少子高齢化している（いく）地域において、公共の移動手段をきちっと確保していくことは絶対必要である。利用者の数のみで判断ではなく、安心して暮らせる住みよい木津川市であってほしい。過疎化している地域住民へ目を向けることを忘れないでと願うばかりです。交通手段だけでなく、農業や商業等も含めて！（買い物すらできなくなってしまうのでは。）人とのつながりも考えながらコミュニティバス等を考えてと願うばかりです。

② バスの運行本数を増やす

- 本数増加等をしていただければはじめは負担金増になるかもしれませんが、便利になれば必ず利用者は増えると思います。
- 朝・夕の通学・通勤時間帯の運行が増えると利用しやすいです。特に、JR 木津と近鉄山田川・高の原、できれば南陽高校も経由本数を増やしてほしい。

③ バス運賃の値下げ

- 今迄元気だったので高の原駅迄行くのに困らなかったのですが、今 75 歳を過ぎますとバスを利用したいと思います。料金の方ですが近距離の場合は元の料金 100 円位でお願いできたらと思っています。
- 現在は、運転できるが、高齢になったときの交通手段が公共機関を利用することとなると思いますが年金生活で運賃が高くつくとう外出を控えることとなります。心配です。

④ 不便なバス路線の変更

- （悪いわけではないですが）高の原行バスは朱雀を通るので高齢者の乗降が多く、遅くなりギリギリ急行に乗れないことも多々あります。平城山経由だと高の原が遠すぎて…。木津駅も城山台経由だと遅いので、もう少し考えて頂きたいです。不便で高くなってます。なので、電動自転車を購入し駅まで最近は利用してます。
- このアンケート内容を拝見して先ず思ったことは、コミュニティバスの運行本数が多いのでは…と思いました。客観的ですが JR 線エリアを通る木-1・木-2 をルート改善し合理化できるのではないのでしょうか。調査結果で運行ルートも本数も減らすことが経費削減となり、また導線の活性化となるようご配慮の程お願いします。

⑤ 割引制度の導入

- きのつバスに関して言えば、100 円の時には気軽に利用していましたが一気に 200 円になり利用しなくなりました。段階的に値上げするとか方法はあったのでは？政令都市と同じ様に行かないのは判っているが、年を取ったからと云って割引パスがあるわけではなく、逆に 100 →200 の増額。市になったメリットが全然ありません。しかし、年を取って車に乗れなくなった時には 1 時間に 1 本でもバスがあるのは助かります。損して得とれではないけれど、値下げして利用者を増やす方法は？高齢化社会、需要は一杯あると思うのですが…
- 京都市内在住の人のように高齢者に対する補助をして欲しい。（不公平で多いに不満）（税金も同等に支払っている）

⑥ 他市町村への乗入れ

- 近鉄祝園駅に通勤、通学、買い物など、利用している人が多い様に思います。棚倉、上粕から祝園駅にバスが巡回してくれればとても良いと思います。
- 行政間の連携により精華町域（新祝園駅）にも行ければ利用は増えると思う。急行停車駅である新祝園駅の利便性は山田川駅よりはるかに高く、利用者も多いはず。（車での送迎においても。）

⑦ コミュニティバスの経費面の工夫

- 運行経費は受益者負担とすべき。料金を値上げした上で高齢者には別に補助すれば良い。
- 赤字路線は廃線にする方がいい、あるいは同じ赤字でも料金を 50 円とか 100 円にして多くの人が利用しやすくし、現在の 2 倍くらいの方が利用しているのなら多少赤字でも市民の足なのだから仕方ないと思えるのではないかと思う。

⑧ 主要施設への直行便

- 南加茂台はどんどん高齢化になっています。車も乗れる方も減っていくと思います。一番心配なのは山城病院に 2 回も乗り換えなければならないことです。どうかコミュニティバスで直接行ける様なシステムを考えてほしいです。
- 木津、山城、加茂が合併して木津川市が誕生したが、合併による市民に対する行政上のメリットが見られない。コミュニティバスこそ三地区横断の路線を作ることがその一つと考えられる。（市役所、警察等）の公共機関・高の原ショッピングセンターへの交通手段を是非作ってほしい。

⑨ デマンドバス（利用者の要望に応じて走るバス）や乗合タクシーなどの新しい交通システム

- コミュニティバスの方は 1～2 時間に 1 本だと「それだけなら乗らないよ。」という理由からニーズは減るし、かといって市としてもニーズがあまりないから本数を減らすわけで、こうなるとどんどんニーズは減る一方なので。それならばいっそコミュニティバスをなくし、もっと予算が少なくですむ、小規模な乗物に変えて本数を増やすとか、あるいはタクシー、介護タクシーと共同で運行してみるといった方法もアリかもしれません。

⑩ コミュニティバスの一部廃止、または全面廃止にすべき

- H25 8000 万円を国と市で負担、誰のため、市民の意見が反映されてないのでは。市はコミュニティバスを運行して何を住民にサービスしていると考えているのか。ある特定の人に利用であれば、民間バスで十分ではないか。例えば、近鉄と JR 間の運行を充実させ利用者を増やし、市を活性化してくベースにするなど。何を考えておられるのか。今回の結果は、9 月の広報にきちんとのせて、市の方向性を示すべき。無駄な物は排除すべき。財がそないあるわけないのに。
- 今は全くバスを利用する事がなくて、移動手段は自家用車なので今後車を自分で運転する事が出来なくなった時にバスを利用するようになるか？と考えると、その時は一人でバスに乗る事すら困難であろうという事になると、やはりバスを利用する事が今のところ全く考えられないという事になります。経費がすごく税金が出ていることにはびっくりしました。負担が多すぎる事に対しては何か考えて欲しいです。

⑪ バスの夜間運行時刻の延長

- パート、アルバイトの仕事に行きたいために交通確保が必要。時間帯 6 : 00 ~ 23 : 00 の時間帯希望。
- 州見台・梅美台は働く世代の方がほとんどと思うのですが、最終バス（奈良交通）が早過ぎる。コミュニティバスは高齢時に必要かもしれないが、（市役所等へ行く際）それほどの頻度があるのか疑問。駅へ行くのなら、奈良交通の方が早いし本数もあり便利。

⑫ バス停の拡充

- コミュニティバスについて、小さな病院、スーパー、コンビニの近くに停留所を設けると利用が増えるのではないかと思います。
- バス停を公共交通バス停より間隔をせまくしてほしい。

⑬ 時刻表、料金、路線図、乗換え案内等の情報提供（総合交通マップの配布など）

- このバス停にはこれがありますという分かりやすい地図があれば利用者は増えると思います。
（例）この場所に TUTAYA がある、この場所にホームセンターがあるなど
- 割引サービスの案内が低いように思う。利用者はリピーターが多いと思うので、その方々にもっと案内した方が良い。口コミで情報が広がる効果もあるかと思います。

⑭ 道路の整備

- 駅までの道がない。（州見台に住んでいるが木津駅、平城山駅への道をつくってほしい。）アンケートを実施しているが改善がみられない。やる気がみられない。人口が増えている地区の交通の便を良くしていかないと人口流出につながるので真剣に考えてほしい。
- 加茂・木津間の道路（木津川南側）、加茂駅東から恭仁大橋を抜ける道路、あぶない道がたくさんあるので、なんとかしてほしい。この道に関しては、カーブが多くせまいのにむちゃな運転をする車があるので、なるべく通行しないようにしています。（子供の通学路なのに…）

⑮ JR の複線化

- 木津川市にとって精華町とのアクセスが悪いのでバスにこだわる必要は無いと考えられる。それより JR の複線化を完了し、近鉄高の原と JR 木津を接続し大阪市内へのアクセスを良くした方がよい。コミュニティバスにお金を使うべきではない。他にまわすべし。
- JR 奈良線全線の複線化について、沿線自治体が一体となって取組んでおられると思いますが、さらに京都府、国を巻き込んで取組みを強化して 1 日も早い複線化に向けて取組んでもらいたい。

⑯ 新駅の設定

- 州見台開発当初、近くに JR 駅が出来ると云われていた。それで引越してきた。裏切られた様な気分 20 年近くです。それが無理なら平城山駅まで道を整備してほしい。バス等循環公共交通を通してほしい。奈良県（奈良市）との領域争いで県境住人の利便を踏みにじらないでほしい。
- 登美ヶ丘まで来ている地下鉄を高の原経由で州見台地区に早く通してほしい。電車が来ると言う話があったので家を買った。

⑰ 鉄道の運行本数を増やす

- 木津川台から京都方面へ出る電車数が少ない。急行との連絡も上手くいかないのが困ります。昔は利用者数も少ない駅だからあきらめていたけど、もう少し、スムーズに急行に連絡できるようになるとありがたいです。
- JR の学研都市線の本数が増えるべきだと思います。本数が少ないから利用者が減少するのではないのでしょうか。

⑱ まちづくりに関して

- 住宅は開発されていくが、交通がともなっていない。車があることを前提としてしか住居を選べない。高齢者一人暮らしにとっては住みにくいのではないかな。
- 新旧調和のとれた町づくりとよく言われているが、旧町内はなにもされていない。

⑲ 新規バス路線等の実証運行

- 大阪府や京都府へのアクセスが容易な新大宮や高の原といった駅へのアクセスをバスで充実させてほしい。
- きのつバスはぜひ加茂まで来るようにしてほしい。高齢になった時などの為に切に願います。

⑳ バスと鉄道の乗換えが短時間にスムーズにできる

- JR、奈良交通バスの発着時刻に合わせた予約が出来れば利用が増すと思う。

②① 駅の整備

- 近鉄木津川台駅の整備をお願いしたい。住民の足というだけでなく、けいはんなの入り口とするならば余りにも貧弱。
- 近鉄電車を毎日利用しているが、高の原駅前の歩道（駅出て東向き）の舗装があらく（でこぼこ）歩くにくい。

②② バス停の整備

- バス停に屋根無いので大変暑いし寒い。日かげがほしい。
- 奈良交通の路線バスとコミュニティバスの乗降場所が判別しにくい。

②③ 遅延が多い

- 利用していた時、バスの遅れから電車に乗り遅れる事が何度もあり、各駅止まりしかない駅を利用していたので、不便でした。

②④ 鉄道同士の乗り換えが短時間にスムーズにできる

- JR 奈良線は木津での乗継が悪いうえに、遅れることが多くて困ります。子供が通学に使っているのを改善してほしいです。
- 加茂駅を利用している者にとって、京都府民でありながら京都方面に向かうための木津駅での乗り継ぎがかなりネックである。本数の少ない事は仕方ないとして、もう少し乗り継ぎ面を考えてほしい。何年も JR に頼んでいるが、あまり進まないの、木津川市として考えてほしい。近鉄電車を利用しにくいのも不便を感じている人が多い。

②⑤ バスや鉄道の相互で乗り継ぎ可能な IC カードの導入

- コミュニティバスも 200 円がなかった場合に乗りにくい。今はイコカカードで奈良交通は OK でしょう。イコカカードで利用出来ればもっと利用が出来そうです。
- 4.1 日や 1 回毎より年間パスのようなもので、近鉄、バス、JR など共通で使えるものを作ってはどうか。プラス、タクシーも安くなるとか。

②⑥ バス停に何分後にバスが到着するのかを表示するシステムの導入

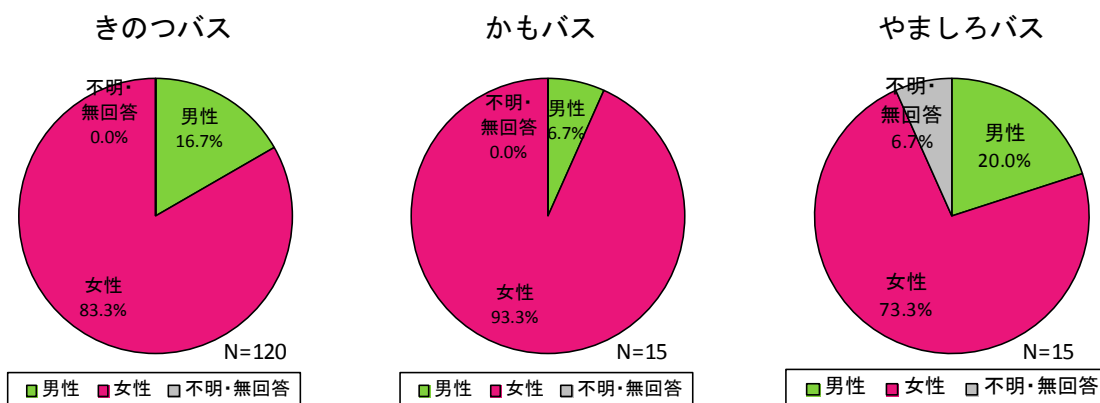
- 時々大幅に遅れることがあったので、大阪市交通局のようなバス接近情報があったら便利だなあと思いました。

3. 利用者アンケート調査の結果概要

3.1 利用者の属性

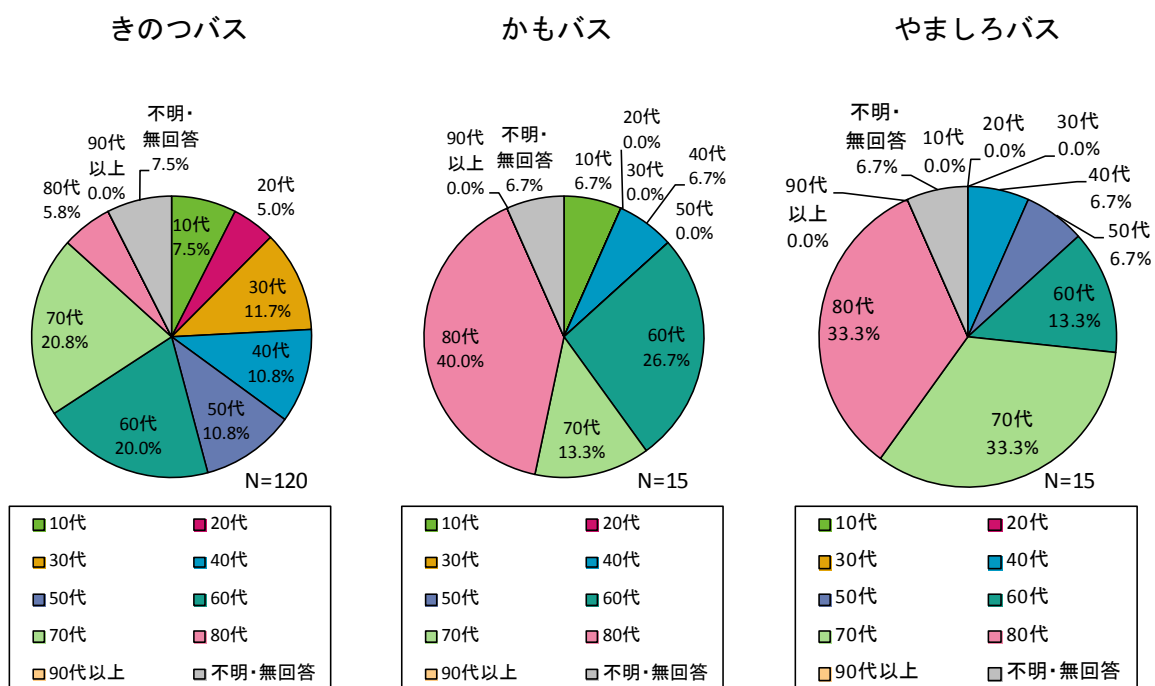
3.1.1 性別

すべてのバスで、女性が7割以上を占める。



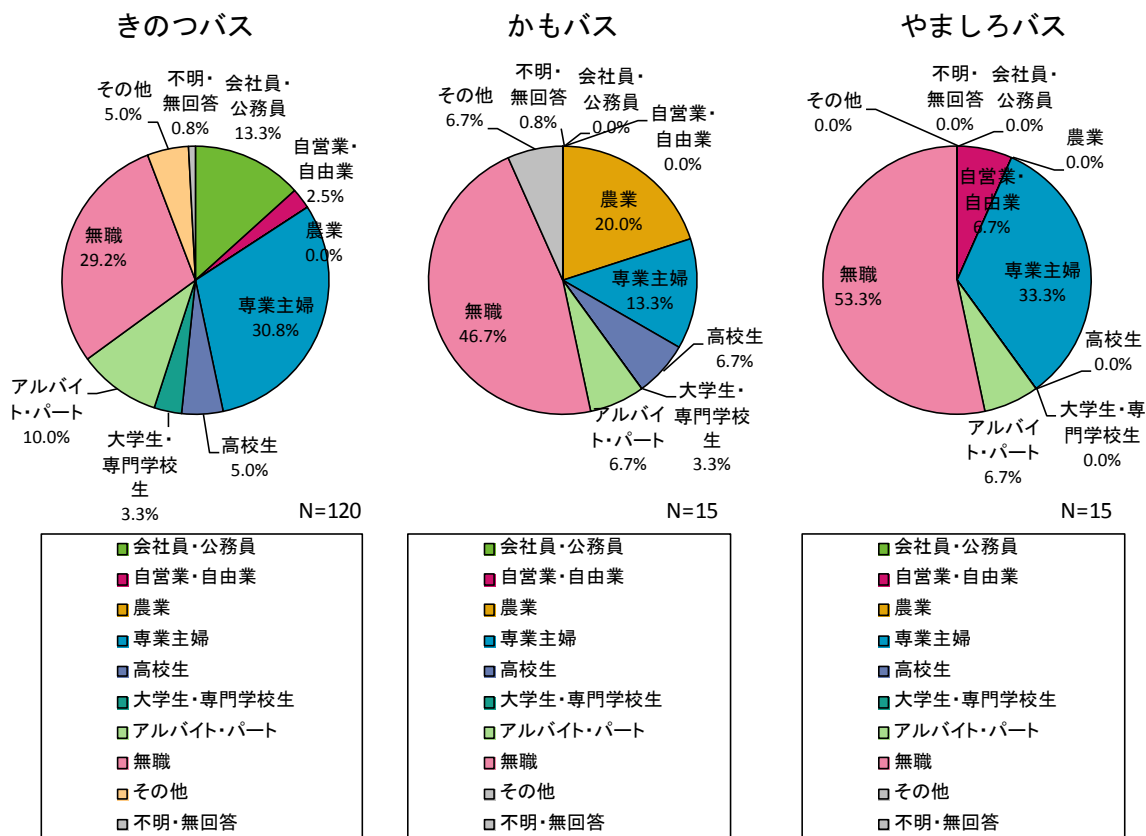
3.1.2 年齢

きのつバスは、60代以上が半数を占めるが、かもバスおよびやましろバスは8割を占める。



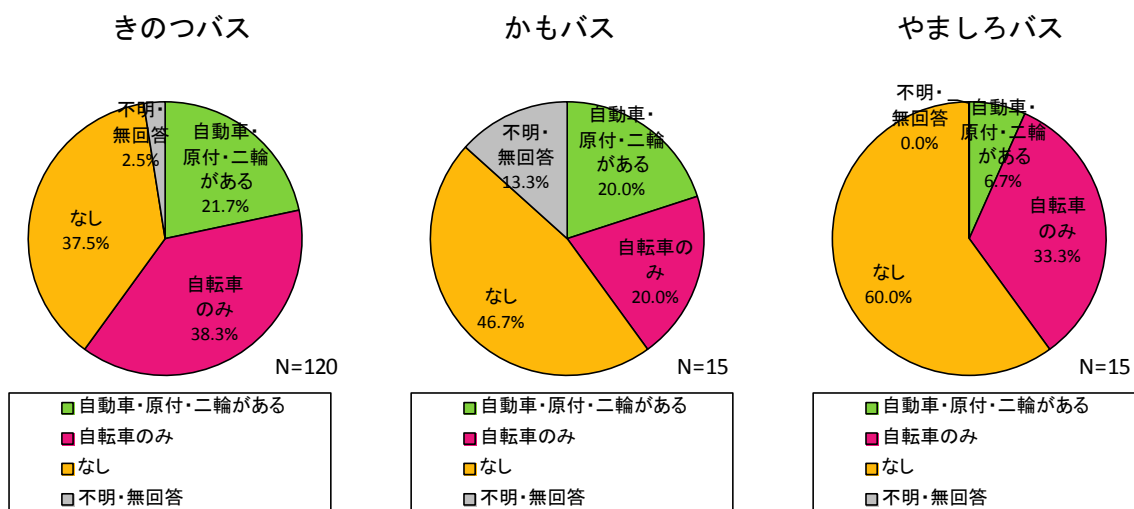
3.1.3 職業

すべてのバスで、無職あるいは専業主婦が6割以上を占める。



3.1.4 自由に使える移動手段

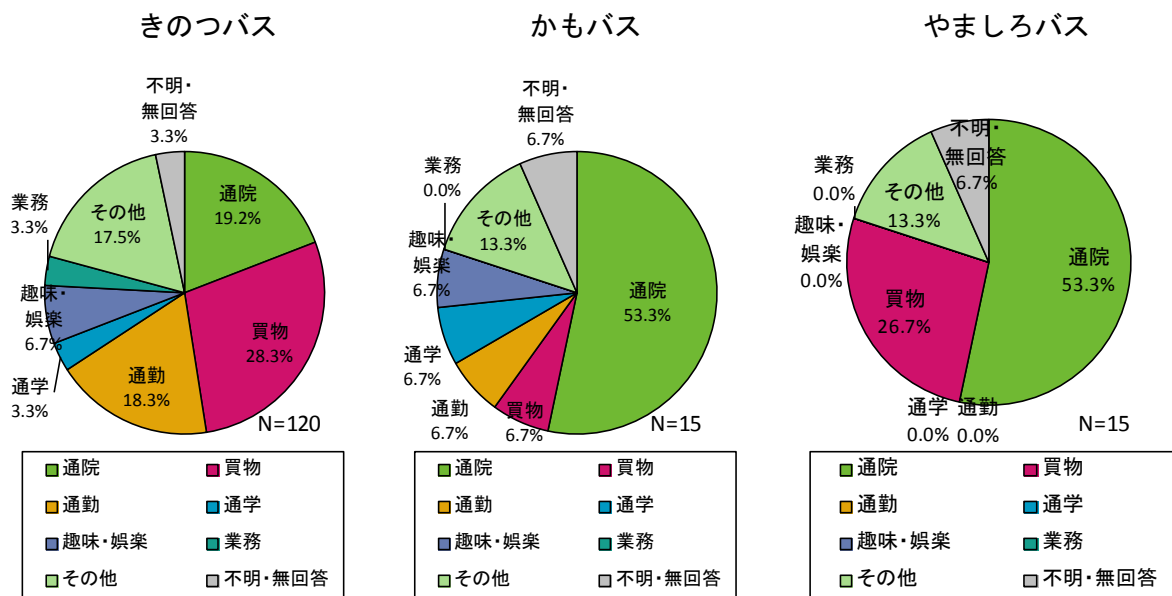
すべてのバスで、自転車のみ使える人あるいは自由に使える移動手段がない人が7割以上を占め、自動車等を使えない人がバスを利用していることが伺える。



3.2 調査日の移動について

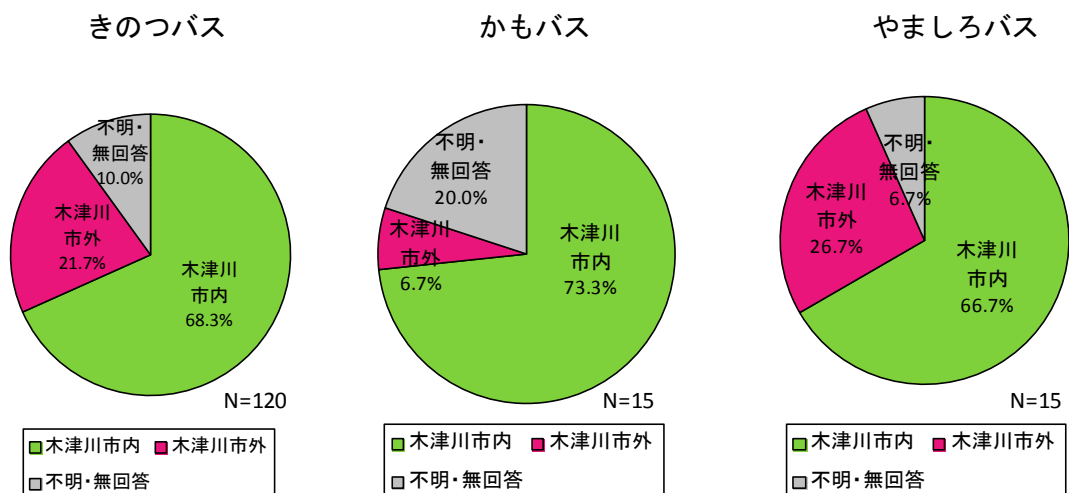
3.2.1 移動の目的

きのつバスは、買い物や通院、通勤が多く、また様々な目的で利用されている。
かもバスおよびやましるバスは、主に通院あるいは買い物で利用されている。



3.2.2 行き先

すべてのバスで、市内が7割を占める。

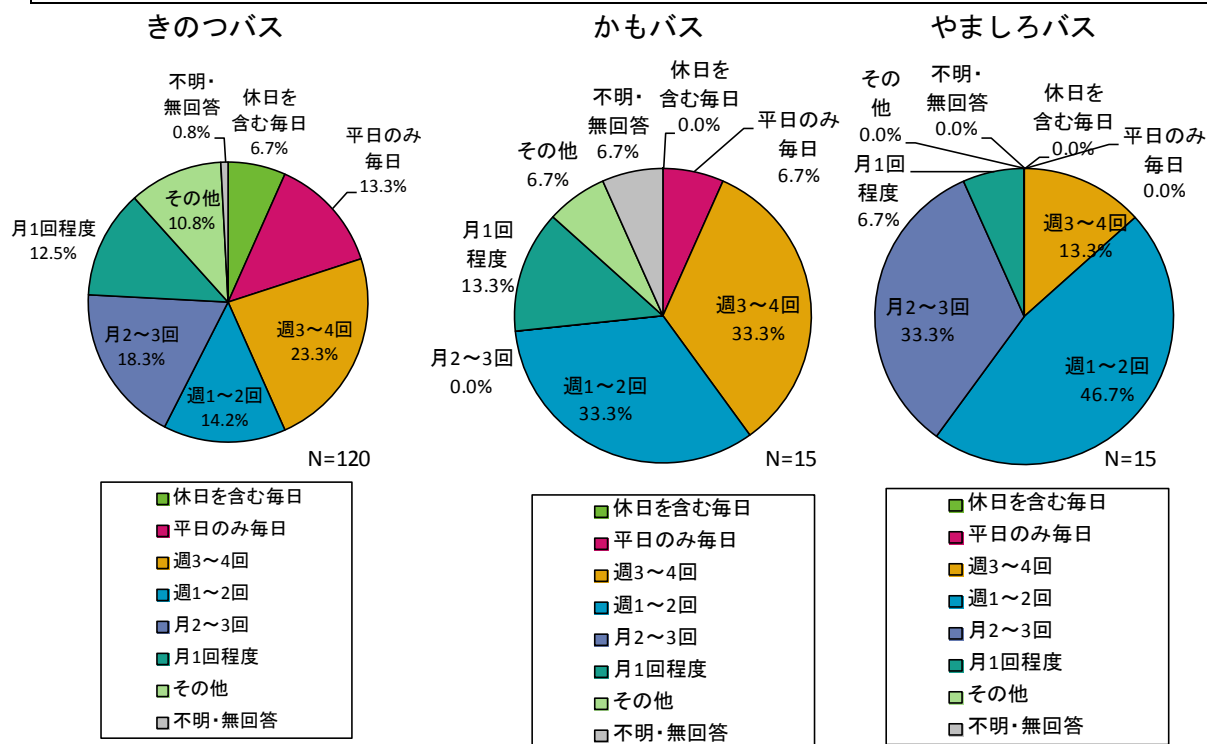


3.3 バスの利用頻度と利用理由について

3.3.1 バスを利用した外出頻度

きのつバスでは、休日を含む毎日あるいは平日のみの毎日が 2 割を占めるが、かもバスおよびやましろバスは 1 割も満たない。

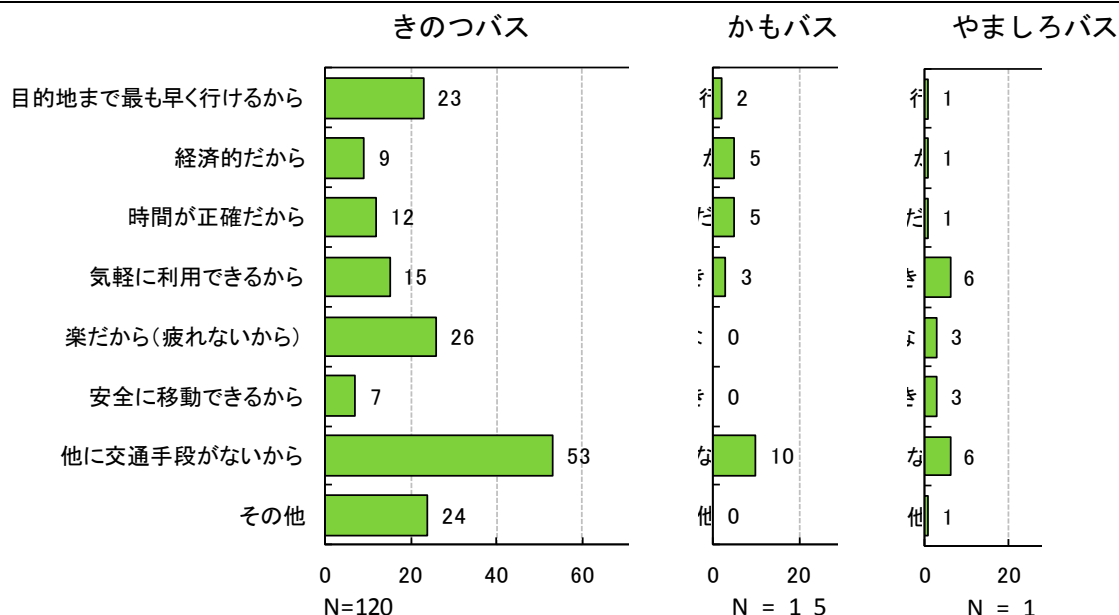
これは、きのつバスは、通勤および通学に利用されているのに対して、かもバスおよびやましろバスは、ほとんど利用されていないため、それが影響していることが伺える。



3.3.2 バスを利用して外出する主な理由（複数回答）

すべてのバスで、「他に交通手段がないから」が最も多い。

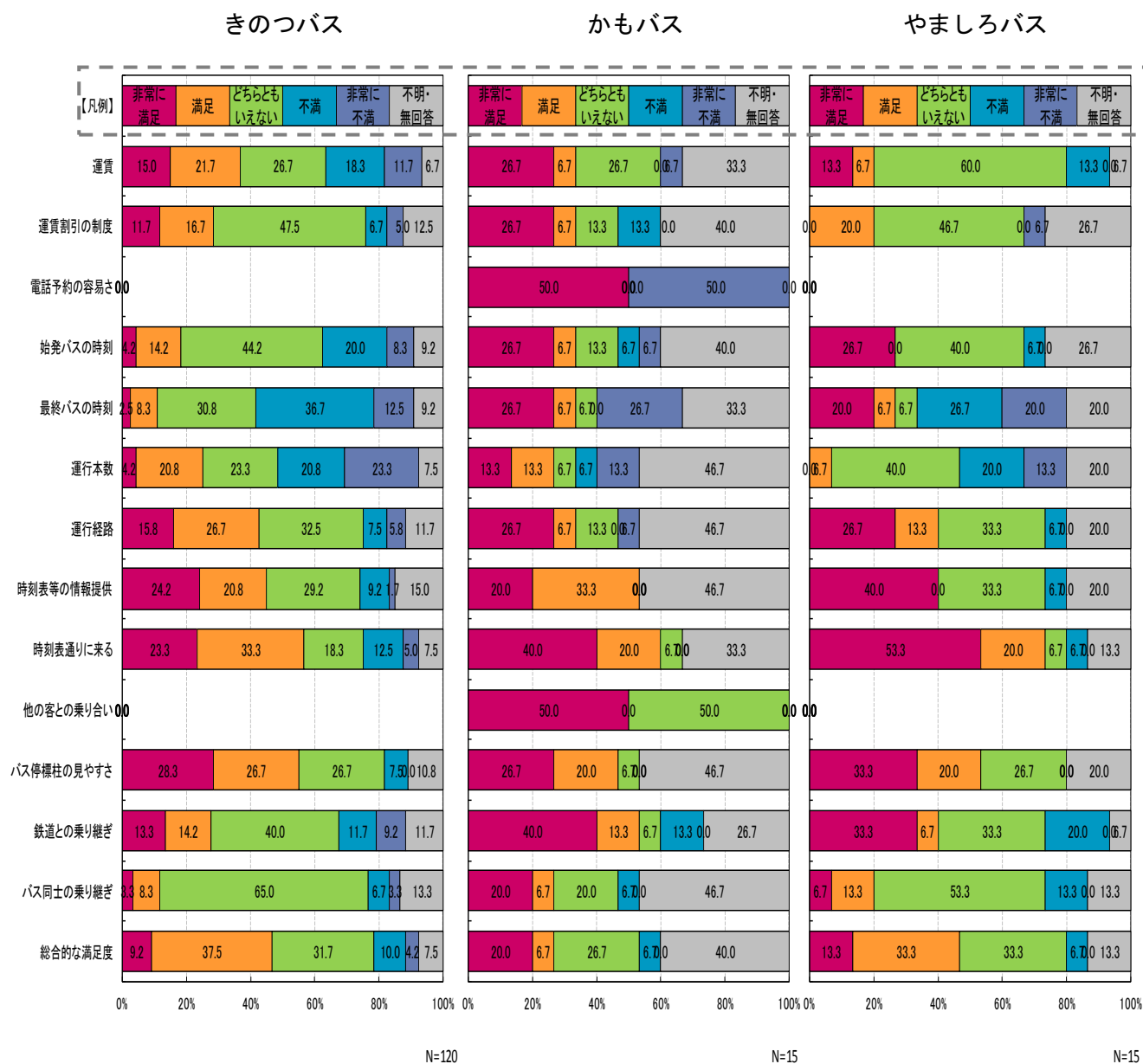
これは、自由に使える交通手段がなく、バスを利用するしかないことが伺える。



3.4 バスの満足度について

3.4.1 項目別の満足度

すべてのバスにおいて、「時刻表等の情報提供」および「バス標柱の見やすさ」、「時刻表通りに来る」の満足度が高く、「最終バスの時刻」の満足度が低い。



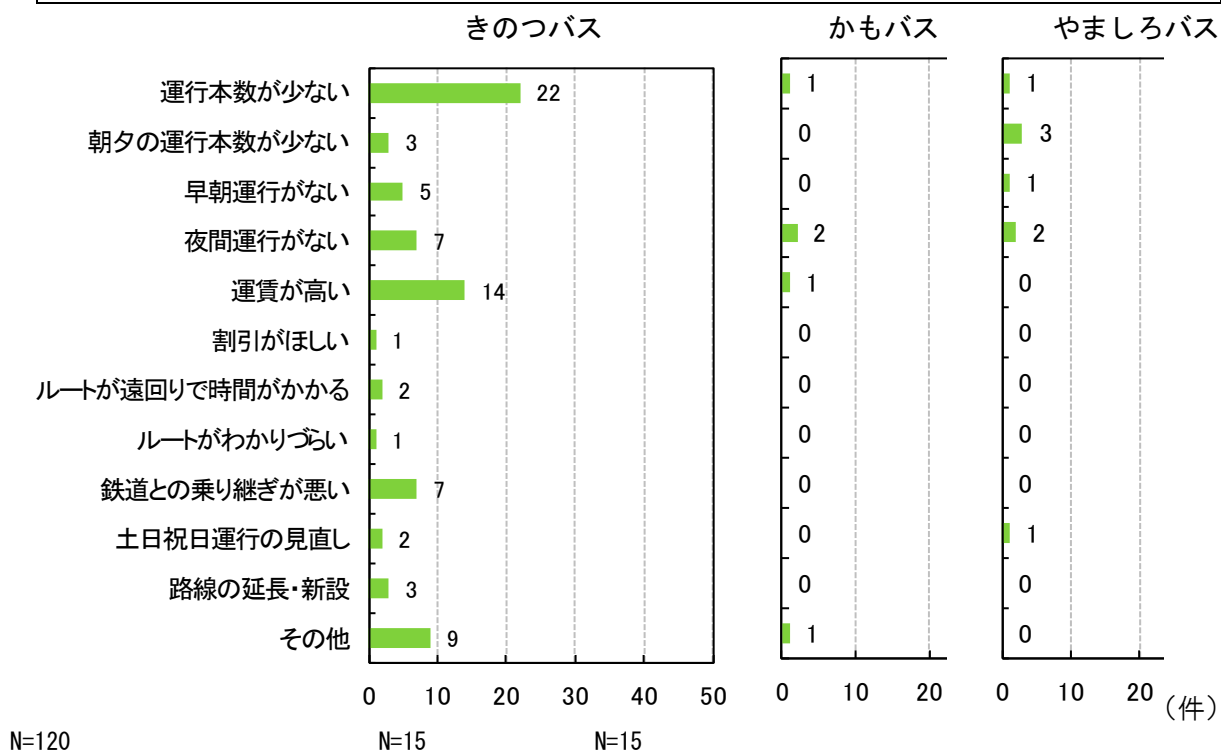
【凡例】



3.4.2 バスに対して、不満に感じる内容・理由（複数回答）

きのつバスでは、「運行本数が少ない」、「運賃が高い」との不満が多い。

運賃に不満を感じる理由は、持続可能な運行を実現するため、運賃を値上したことが考えられる。



3.5 公共交通に関する意見・要望

3.5.1 意見・要望の概要

意見・要望の内訳

選択肢	回答数
コミュニティバスは必要である	14
バスの運行本数を増やす	13
バス料金の値下げ	3
不便なバス路線の変更	1
他市町村への乗入れ	1
バス停の拡充	1
鉄道の運行本数を増やす	3
バスと鉄道の乗換えが短時間にスムーズにできる	2
高齢者への優遇	3
バス停に何分後にバスが到着するのを表示するシステムの導入	1
その他	10
記述なし	102
合計	154

※回答者が複数の意見を記入の場合、各意見項目にそれぞれ計上しているため、記述数合計とアンケート回収数とは一致しない。

3.5.2 主な意見・要望

①きのつバス

■コミュニティバスは必要である

- 東西軸の公共交通として必要。
- 毎時1本バスが出ていることは、わかり易くありがたいです。ここに越して来た頃は木津駅方面に行くバスが1日5本しかなかったことを思うと、どうか現状維持していただきたいです。
- バスが有るので外出が出来るのでとても助かって喜んでおります。
- きのつバスの継続をお願いします。
- コミュニティバスは運賃200円と安く大変かもしれませんが、お年寄の方にも丁寧な良いバスなので、今後も利用したいです。
- きのつバスができて助かっている。
- バスはないと絶対に困る。

■バスの運行本数を増やす

(運行本数の増加)

- バスは大切な交通手段だが、本数が少ない。
- 木津川台住宅に通勤で使用している利用者が増えているのに、朝の本数が近鉄の時間との兼ね合いで1本しか利用できない。増発してほしい。
- 奈良交通バスを補間していると思いますが、朝、夕の本数が少なく、あまり利用していません。
- 本数増やしてほしい。
- せめて、1時間に2本ほしい！！
- 利用客数を見ていると今の本数が限界だとは思いますが、本数が増える事を希望します。
- 1時間に2本のバスがほしいです。

(始発・最終バスの時刻の見直し)

- 朝もう一本早いのが欲しい。
- 夕方に1本6時～8時の間に1本だけでも夕方運行してほしいです（行きと帰りに）。
- 木津川台向け（山田川発）の最終便（土・日・祝）が早すぎる（今どきない）。バスがないから土・日・夜出かけるのはやむなくやめることもよくある。歩きだと不安心、タクシーもないときが多いので。

(ダイヤの見直し)

- 土・日・祝日のダイヤを平日と同じ時間帯をお願いします。
- 高山サイエンスから来るバスときのつバスの時刻が南陽高校ではほぼ同じ時刻なので（高の原駅行き）、重ならないようにしてほしい（例：9:31と9:35とか）。

■バス料金の値下げ

- 値段を100円に戻したらいいと思う。
- 他府県は100円バスや無料バスなどで乗車が多いらしい。料金もあまり通常バスと大差ない。メリットを感じられない。他地域の経路も多い所は利便性を感じられる。
- 運賃が100円から200円になって以来、サービスの向上はみられず、出かける日数は減る一方！！祝園行きを復活させてほしい！！祝園（京都府内で買い物したいと思う。受診も。）で病気がちになり医療費がアップしてます。

■不便なバス路線の変更

- 兜台三丁目に住んでいます。コミュニティバスが兜台一丁目西迄しか来ません。桜が丘三丁目を回っていくバスはないのですか。
- 奈良交通便も含め、木津川市域にこだわらないルート設定を！！（通勤、通学の利便性を重視し、急行停車駅中心にルートを設定してほしい。）
- 1時間に1本長距離走行するより、分割して（同一料金で乗り継ぎできるようにする）循環バス等の地域に密着した運行にする。例えば、木津川台は幹線道路しか運行していないので、北側の住民は不便なので循環して山田川、木津駅行にする。
- 福祉センターへのバスも欲しい。
- 新祝園駅方面行のバスがほしい。是非とも考えてほしい。

■高齢者への優遇

- 高齢者に対する割引が欲しい。
- 高齢者に対する割引制度をもっと充実させてほしい。
- 奈良との境界に住んでいます。奈良の老人は奈良バス優待、他にもいろいろ…。移り住んだ人も幾人かいます。地域格差解消が先決。「アンケート」なくても歴然でしょうに。

■その他の要望

- 到着時間を知りたい（星の国プラネタリウムとつないでほしい）。
- クーラーの効きすぎで寒いです。
- 木津川台の駅ってどうしてタクシー（バス…）がないのか？木津川台に住んでいても山田川を利用する方が多くあの駅は必要なのか？

②かもバス

■コミュニティバスは必要性である

- 利用は減っているのですが…なくなるととても不便です。
- 運行よろしく願いいたします。
- いつも感謝しています。バスの中で会話が出来あってありがたく思っております。

■バスの運行本数を増やす

（運行本数の増加）

- JR 奈良西口～浄瑠璃寺間の急行ですが、12時4分～16時4分を増やしてほしい。お客様が不便を感じておられると思います。

（ダイヤの見直し）

- 奥畑線午前中9時頃にあると便利です。病院に行くのに予約タクシーを利用していますが。

■不便なバス路線の変更

- 加茂駅からガーデンモールを経由して高の原駅へ行く便を考えてください。南加茂台を含めて、加茂の方は高の原へ出る手段が、自家用車しかないのです。

■その他の要望

- 老人のために必要なのではなく、もう少し活動的な年代（子供も含めて）が利用しやすく考えてほしい。高齢者はもうバスは無理なのです。バス停から家まで往復できる人たちが使いやすくしてください。大畑線の時刻表（本数）が、あまりに少なく、予約するにもとても不便です。

③やましろバス

■コミュニティバスは必要性である

○市民の高齢者はこれからだんだんと多くなり、不便であれば家に閉じこもることが多くなり健康的体力的に弱くなりがち。運行本数を増やし外出をするよう運動してください。お願いします。

○いつもありがたく利用させて頂いています。ドライバーさんも良い方達です。

■コミュニティバスの運行本数を増やす

(運行本数の増加)

○いつもお世話になりありがとうございます。バスの回数を増やしてほしい。バスの停留所を増やしてほしいです。

(ダイヤの見直し)

○きのつバスが市役所のあたりから木津駅まで混み合ってなかなか動かないので山城線（1 時間に 1 本）に間に合うか？いつもドキドキしている。

施設アンケート調査の結果概要について

1. 調査の概要

1.1 目的

市民アンケート調査を補完することを目的として、施設（買物施設、医療施設、観光施設）への来訪者に対して、来訪手段に関するアンケート調査を聞き取り方式により実施した。また特に観光施設（浄瑠璃寺）では、自動車による来訪が多いことから、公共交通への転換可能性について確認をしている。

1.2 調査実施概要

①市民アンケート

項目	詳細
対象施設	買物施設：アルプラザ木津 医療施設：山城総合医療センター 観光施設：浄瑠璃寺
調査方法	各施設2名の調査員により、施設周辺にて聞き取り調査を実施
実施日	アルプラザ木津：8月12日（火） 山城総合医療センター：8月12日（火） 浄瑠璃寺：8月2日（土）
聞き取り件数	アルプラザ木津 35件 山城総合医療センター 34件 浄瑠璃寺 32件 計 101件

1.3 調査票

①買物施設、医療施設

木津川市の公共交通に係る総合的な計画策定のための 生活施設訪問者アンケート調査票(※調査員が聞き取り・記入)

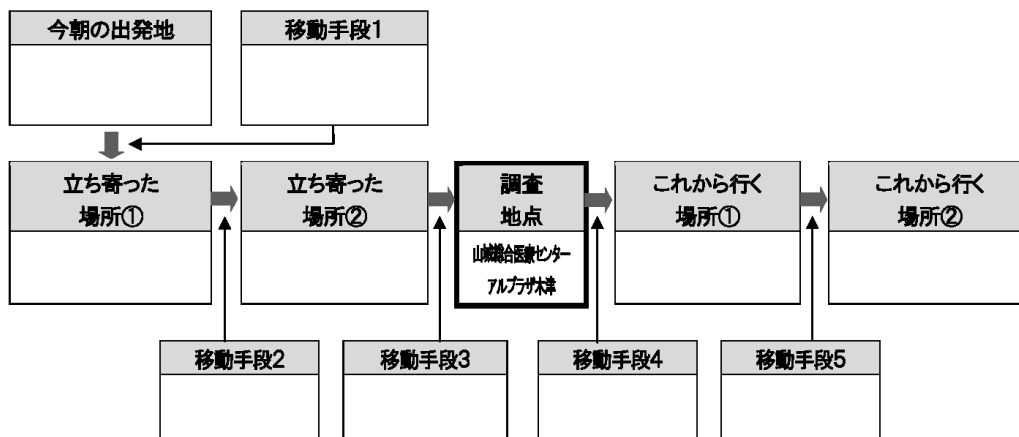
※以下の質問について、対象者の回答に該当する番号に○をつけ、()内に記入をお願いします。

質問1 本日 月 日のお出かけについて

①調査地点(山城総合医療センターもしくはアルプラザ木津)を訪れる頻度は、どのくらいですか。(1つに○)

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. 休日を含む毎日 | 2. 平日のみ毎日 | 3. 週3~4回 | 4. 週1~2回 |
| 5. 月2~3回程度 | 6. 月1回程度 | 7. その他() | |

②調査地点(山城総合医療センターもしくはアルプラザ木津)への来訪前後に立ち寄るところや、そこまでの移動手段について、今朝の出発地点から順に教えて頂けますか。→調査地点前後の場所やその間の移動手段を把握する。



【移動手段の選択肢】※その他の手段をお答えの場合は、欄内へ具体的に記入してください。

- | | | | | |
|----------|---------------------------|---------------------------|----------------|-------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 原付・二輪 | 4. 自家用車(自分で運転) | 5. 自家用車(送迎) |
| 6. きのつバス | 7. 加茂地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー | 8. 山城地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー | 9. 奈良交通路線バス | |
| 10. タクシー | 11. 電車(JR) | 12. 電車(近鉄) | 13. わからない | 14. その他() |

③上記②でお答えになった移動手段を利用する主な理由は何ですか。(2つまでに○)

- | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. 目的地まで早く行けるから | 2. 経済的だから | 3. 時間が正確だから |
| 4. 気軽に利用できるから | 5. 楽だから(疲れないから) | 6. 安全に移動できるから |
| 7. 他に交通手段がないから | 8. 時間を自由に選べるから | 9. 皆で行動するのに便利だから |
| 10. その他() | | |

【上記に該当しない意見等があれば、以下のスペースに具体的に記入してください】

④調査地点への移動手段(移動手段3)の総合的な満足度を5段階(5点満点)で教えてください。

非常に満足 どちらともいえない 非常に不満

●総合的な満足度 5 — 4 — 3 — 2 — 1

⑤本日利用したいいずれかの移動手段に関して、不満に感じているところがあれば教えてください。

【例】便数が少ない、最終便が早い、等

○移動手段()について

○移動手段()について

⑥公共交通を使って当施設へ来訪するには、どのような点が便利になったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--|-----------------|-----------------------|
| 1. 運賃が安くなる | 2. 割引切符がある | 3. 駅などで積極的に情報提供がされている |
| 4. 早朝・深夜にもバスがある | 5. 運行本数が多くなる | 6. 所要時間が短くなる |
| 7. 鉄道との乗継が良くなる | 8. バス同士の乗継が良くなる | 9. 車内で周辺の観光情報が手に入る |
| 10. 公共交通利用での特典(市内の施設で利用料金の割引が受けられるなど)がある | | |
| 11. その他() | | |

【上記に該当しない意見等があれば、以下のスペースに具体的に記入してください】

質問2 コミュニティバスの今後の必要性についておたずねします

①木津川市のコミュニティバスの今後の必要性について、あなたの考えをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. ないと生活に支障をきたすので必要 | 2. ないと外出の機会が減るので必要 |
| 3. 家族や知人が利用しているので必要 | 4. 地域の基盤として必要 |
| 5. 今は困らないが、高齢になった時など将来的に必要な | 6. なくても代わりの交通手段で移動できる |
| 7. なくても全く困らない | 8. わからない |
| 9. その他() | |

【上記に該当しない意見等があれば、以下のスペースに具体的に記入してください】

質問3 あなたご自身のことについておたずねします

①お住まいの郵便番号	()-()
②運転免許の保有(1つに○)	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. 返納した 4. 持っていない
③あなたが自由に使える移動手段(該当するもの全てに○)	1. 自動車 2. 原付・二輪 3. 自転車 4. なし 5. その他()
④性別(※調査員が判断)	1. 男性 2. 女性
⑤年齢(※調査員が判断)	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90歳以上

最後に、木津川市の公共交通に関するご意見・ご要望をお聞かせください

②観光施設

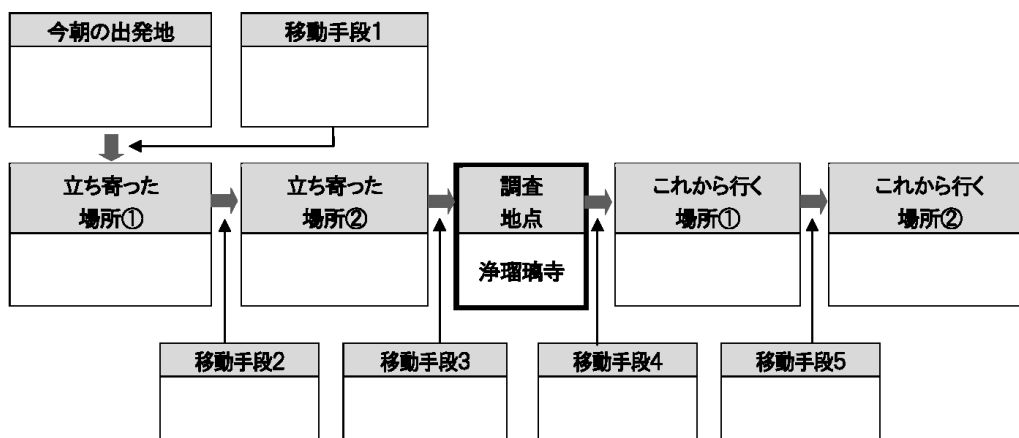
木津川市の公共交通に係る総合的な計画策定のための 来訪者アンケート調査票(※調査員が聞き取り・記入)

※以下の質問について、対象者の回答に該当する番号に○をつけ、()内に記入をお願いします。

質問1 本日 月 日のおでかけについて

①浄瑠璃寺への来訪前後に立ち寄るところや、そこまでの移動手段について、今朝の出発地点から順に教えて頂けますか。

→駅や観光施設等、調査地点前後の場所やその間の移動手段を把握する。



【移動手段の選択肢】 ※その他の手段をお答えの場合は、具体的に記入してください。

- | | | | | |
|----------|---------------------------|---------------------------|----------------|-------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 原付・二輪 | 4. 自家用車(自分で運転) | 5. 自家用車(送迎) |
| 6. きのつバス | 7. 加茂地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー | 8. 山城地域コミュニティバス/予約型乗合タクシー | 9. 奈良交通路線バス | |
| 10. タクシー | 11. 電車(JR) | 12. 電車(近鉄) | 13. わからない | 14. その他() |

②浄瑠璃寺までの移動やこれから先の移動に関して、不満に感じているところがあればお教えてください。

【例】 交通機関の情報や案内が少ない、観光地の場所がわかりにくい、等

③近鉄奈良駅や、JR奈良駅、加茂駅から浄瑠璃寺までのバスが運行されていることを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っていた 2. 知らなかった → (バス路線図・時刻表を見せ、浄瑠璃寺までのルートを説明)

次回は、バス等の公共交通機関を利用して来訪できそうですか？

1. できる 2. できない 3. わからない

【できない・わからない理由を具体的に】例) 周辺にはクルマが便利、移動に時間がかかる、道中の休憩が不安、等

④浄瑠璃寺までの移動手段に関する情報(クルマの場合は道順、バスの場合はバス停やダイヤ等)はどこから入手しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 時刻表検索(パソコンや携帯電話、スマートフォン等) | 2. ブログや SNS(Twitter や Facebook 等) |
| 3. 鉄道駅での掲示 | 4. 観光雑誌やガイドブック |
| 5. 観光案内所 | 6. カーナビ |
| 7. 地図 | 8. その他() |

⑤バス等の公共交通を使って浄瑠璃寺や木津川市のその他の観光施設へ行くには、どのような点が便利になったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--|-----------------|-----------------------|
| 1. 運賃が安くなる | 2. 割引切符がある | 3. 駅などで積極的に情報提供がされている |
| 4. 早朝・深夜にもバスがある | 5. 運行本数が増える | 6. 所要時間が短くなる |
| 7. 鉄道との乗継が良くなる | 8. バス同士の乗継が良くなる | 9. 車内で周辺の観光情報が手に入る |
| 10. 公共交通利用での特典(市内の施設で利用料金の割引が受けられるなど)がある | 11. その他() | |

【上記に該当しない意見等があれば、以下のスペースに具体的に記入してください】

質問2 コミュニティバスの今後の必要性についておたずねします

①木津川市のコミュニティバスの今後の必要性について、あなたの考えをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. ないと生活に支障をきたすので必要 | 2. ないと外出の機会が減るので必要 |
| 3. 家族や知人が利用しているので必要 | 4. 地域の基盤として必要 |
| 5. 今は困らないが、高齢になった時など将来的に必要になる | 6. なくても代わりの交通手段で移動できる |
| 7. なくても全く困らない | 8. わからない |
| 9. その他() | |

【上記に該当しない意見等があれば、以下のスペースに具体的に記入してください】

質問3 対象者自身のことについて

①お住まいの郵便番号	()-()
②グループの種別	1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校の団体 4. 趣味のサークルなど 5. その他()
③性別 (※調査員が判断)	1. 男性 2. 女性
④年齢 (※調査員が判断)	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90歳以上
⑤同行人数(※調査員が判断)	()人 大人:男性【 】人・女性【 】人, 子ども(15歳未満):【 】人

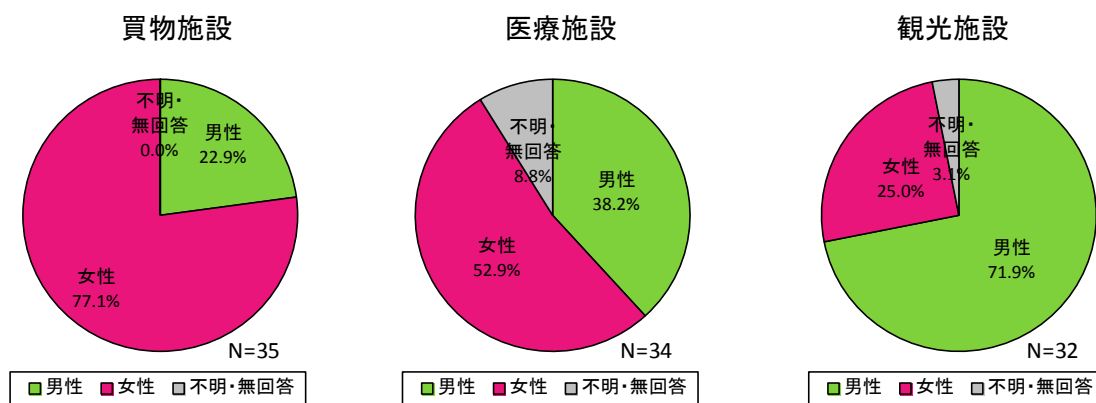
木津川市の公共交通に関するご意見・ご要望

2. 調査の結果概要

2.1 施設来訪者（回答者）の属性について

2.1.1 性別

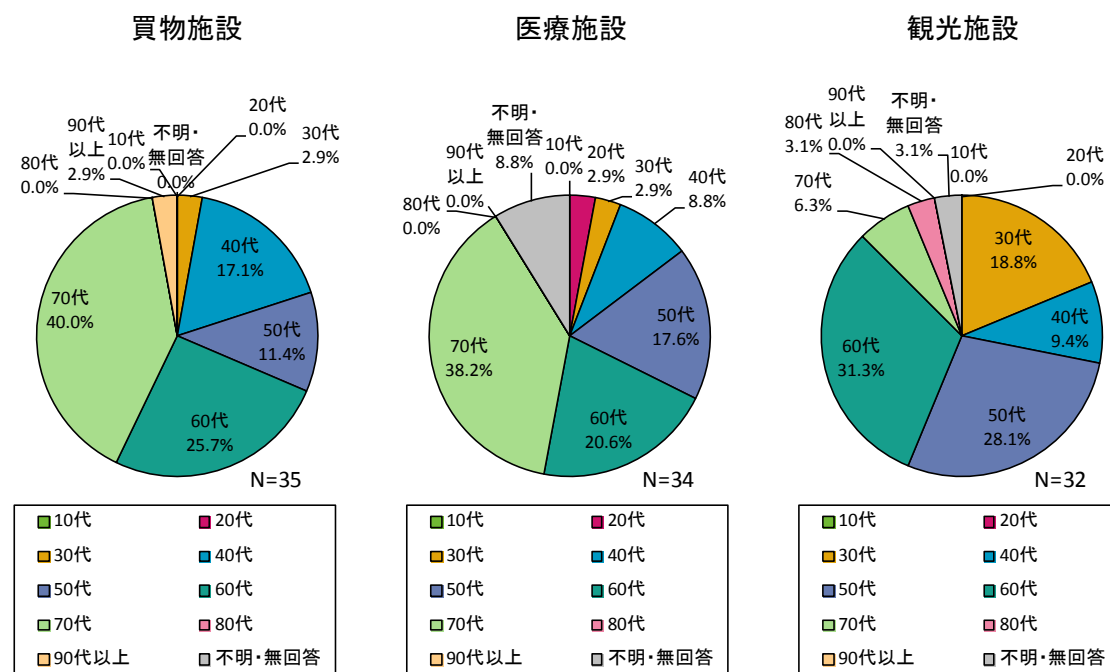
買物施設および医療施設は女性が半数以上、観光施設は男性が半数以上を占める。



		買物施設		医療施設		観光施設	
選択肢		回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1	男性	8	22.9	13	38.2	23	71.9
2	女性	27	77.1	18	52.9	8	25.0
	不明・無回答	0	0.0	3	8.8	1	3.1
合 計		35	100	34	100	32	100

2.1.2 年齢

すべての施設において、50代以上が7割以上を占める。

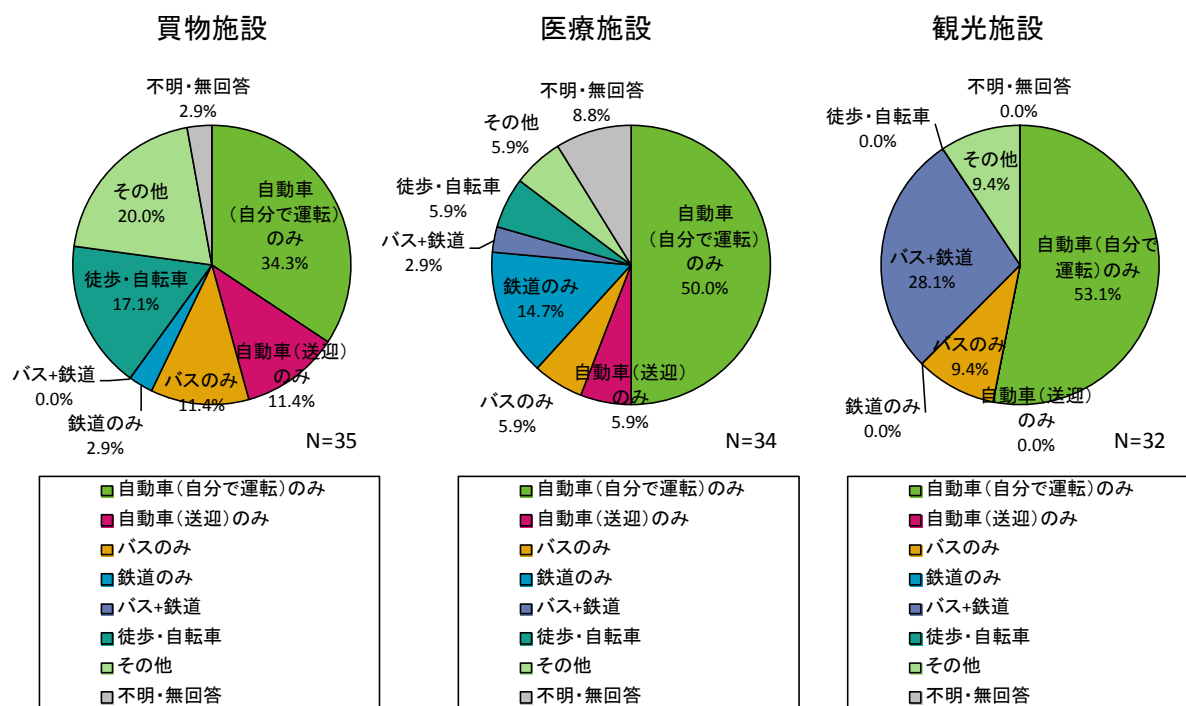


買物施設				医療施設		観光施設	
選択肢		回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1	10代	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	20代	0	0.0	1	2.9	0	0.0
3	30代	1	2.9	1	2.9	6	18.8
4	40代	6	17.1	3	8.8	3	9.4
5	50代	4	11.4	6	17.6	9	28.1
6	60代	9	25.7	7	20.6	10	31.3
7	70代	14	40.0	13	38.2	2	6.3
8	80代	0	0.0	0	0.0	1	3.1
9	90代以上	1	2.9	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0	3	8.8	1	3.1
合 計		35	100	34	100	32	100

2.2 施設までの利用交通手段について

2.2.1 利用交通手段

すべての施設において、自動車(自分で運転、送迎)が半数を占める。

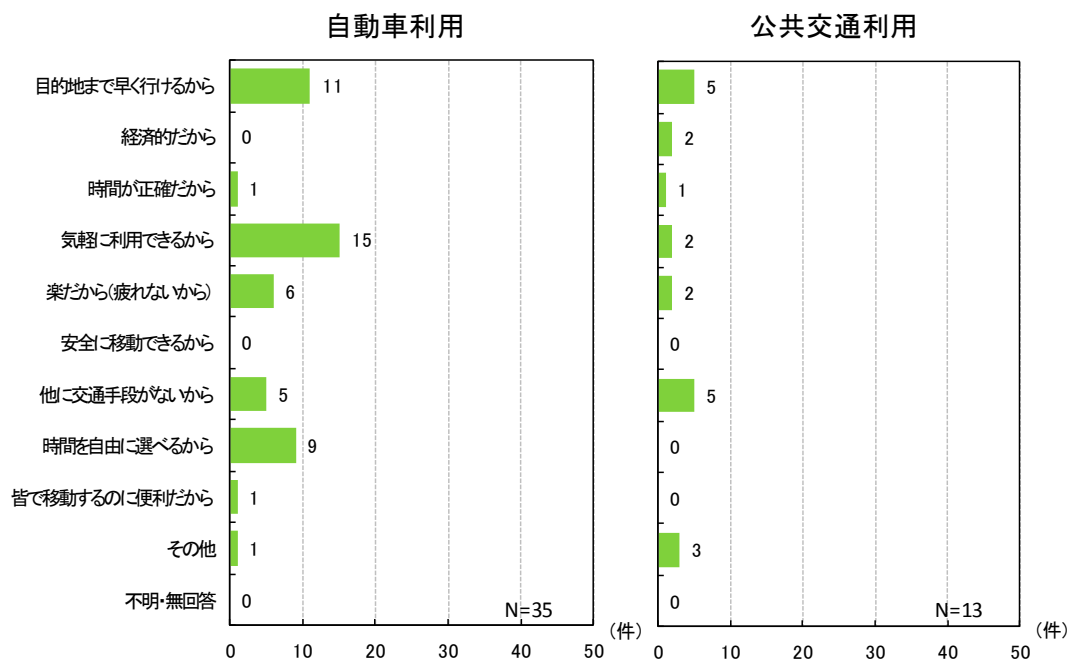


買物施設				医療施設		観光施設	
選択肢		回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1	自動車（自分で運転）のみ	12	34.3	17	50.0	17	53.1
2	自動車（送迎）のみ	4	11.4	2	5.9	0	0.0
3	バスのみ	4	11.4	2	5.9	3	9.4
4	鉄道のみ	1	2.9	5	14.7	0	0.0
5	バス+鉄道	0	0.0	1	2.9	9	28.1
6	徒歩・自転車	6	17.1	2	5.9	0	0.0
7	その他	7	20.0	2	5.9	3	9.4
	不明・無回答	1	2.9	3	8.8	0	0.0
合 計		35	100	34	100	32	100

2.2.2 利用交通手段の満足度と利用理由（買物・医療施設来訪者の結果より）

自動車を利用する理由としては、「気軽に利用できるから」「目的地まで早く行けるから」「時間を自由に選べるから」が多く、自動車が利用しやすい状況にあることが伺える。

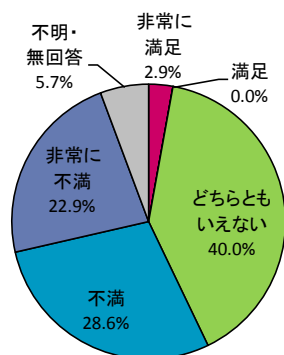
公共交通を利用する理由としては、「目的地まで早く行けるから」「他に交通手段がないから」が多く、自動車が利用できない人が利用していることが伺える。



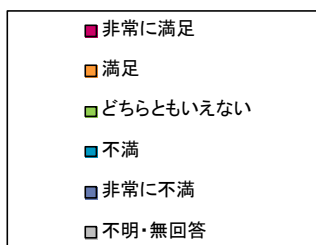
		自動車利用		公共交通利用	
選択肢		回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1	目的地まで早く行けるから	11	22.4	5	25.0
2	経済的だから	0	0.0	2	10.0
3	時間が正確だから	1	2.0	1	5.0
4	気軽に利用できるから	15	30.6	2	10.0
5	楽だから（疲れないから）	6	12.2	2	10.0
6	安全に移動できるから	0	0.0	0	0.0
7	他に交通手段がないから	5	10.2	5	25.0
8	時間を自由に選べるから	9	18.4	0	0.0
9	皆で移動するのに便利だから	1	2.0	0	0.0
10	その他	1	2.0	3	15.0
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合 計		49	100	20	100

自動車利用および公共交通利用と、不満および非常に不満が半数、どちらともいえないが4割を占め、自動車・公共交通ともに不満を感じている人が多いことが伺える。

自動車利用



N=35

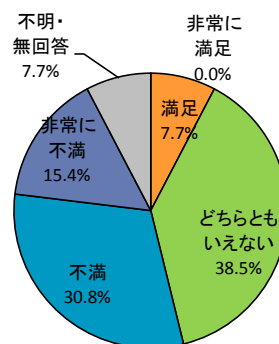


※自動車利用の不満点の内容例

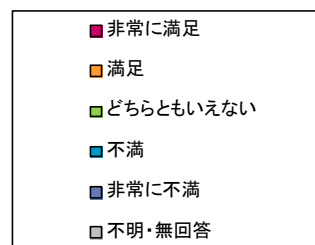
- ・道が混む
- ・駐車が大変

等

公共交通利用



N=13



※公共交通利用の不満点の内容例

- ・鉄道との乗継
- ・便数が少ない
- ・遅延する
- ・バス停にベンチが無い

等

自動車利用

公共交通利用

選択肢		回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1	非常に満足	1	2.9	0	0.0
2	満足	0	0.0	1	7.7
3	どちらともいえない	14	40.0	5	38.5
4	不満	10	28.6	4	30.8
5	非常に不満	8	22.9	2	15.4
	不明・無回答	2	5.7	1	7.7
合 計		35	100	13	100

2.3 観光施設（浄瑠璃寺）までの利用交通手段について（観光施設来訪者の結果より）

2.3.1 利用交通手段に関する不満の内容

自動車に関しては、道路幅員が狭いことや道路標識がない等があげられおり、来訪者が観光施設に到着するまでに不安を感じていることが伺える。

公共交通に関しては、バスの運行本数が少ないことや鉄道駅からバス停までが遠いこと等があげられており、利便性が低いことや情報を事前収集しなければ利用しにくい状況にあることが伺える。

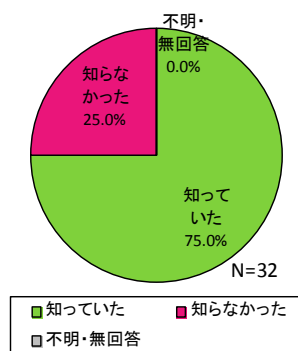
交通手段種別	記述
公共交通	往復割があれば、1枚の切符で来られれば嬉しい。
	タクシー台数が少ない。
	バス少ない（2件）
	少ない
	近鉄奈良駅、バス停が遠かった。
	（終発）バスが早い。
自動車	ガソリンスタンドが少ない。
	道が悪い。
	標識がなかった。
	道が悪い
	道がわかりづらい。
	道がせまい。

2.3.2 浄瑠璃寺までのバス交通の認知と利用可能性

「知っていた」が8割を占めており、バス交通の認知度が高いことが伺える。

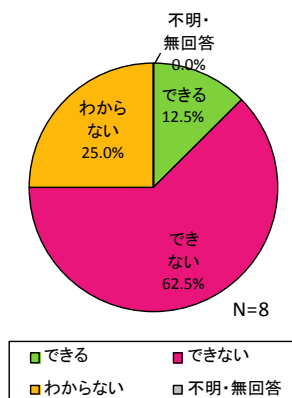
しかし、「利用できない」が6割を占めており、その理由として、自動車で来ることが前提となっていることがあげられている。

○浄瑠璃寺までのバス路線の認知



選択肢	回答数	割合 (%)
1 知っていた	24	75.0
2 知らなかった	8	25.0
不明・無回答	0	0.0
合 計	32	100

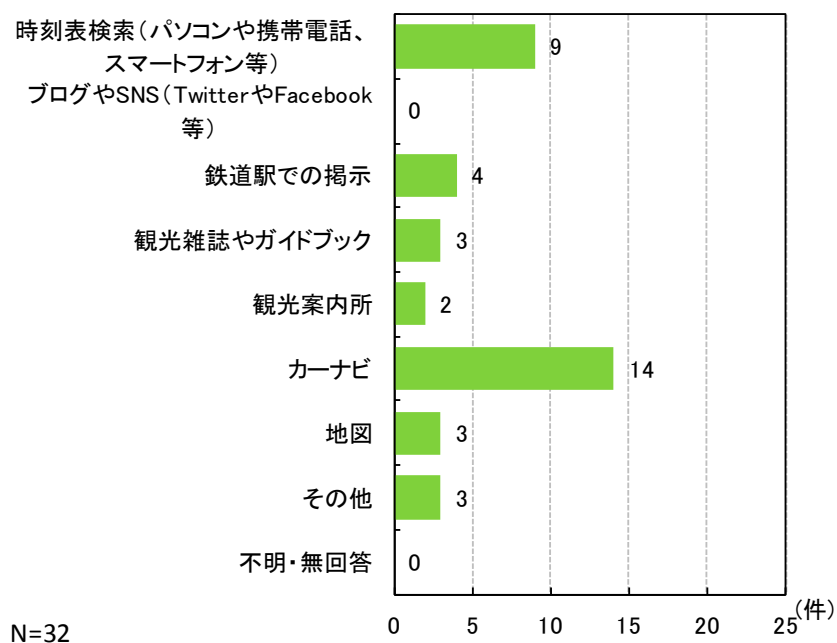
○浄瑠璃寺までのバス利用の可能性



選択肢	回答数	割合 (%)
1 できる	1	12.5
2 できない	5	62.5
3 わからない	2	25.0
不明・無回答	0	0.0
合 計	8	100

2.3.3 交通情報の入手媒体（複数回答）

カーナビが最も多く、次に時刻表検索（パソコンや携帯電話、スマートフォンなど）が続く。
このことから、自動車利用は、カーナビにより情報を得ていることが伺える。

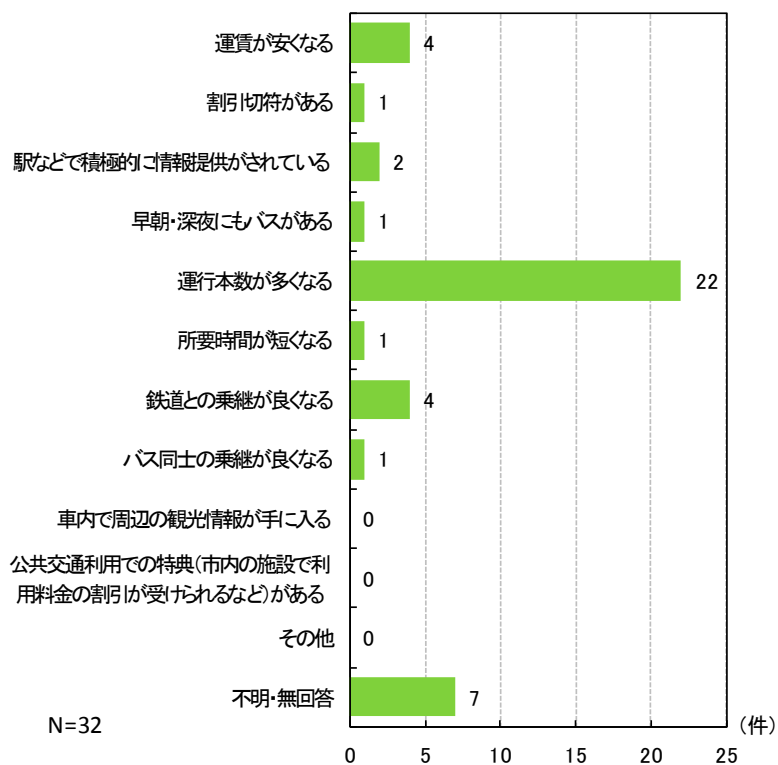


選択肢		回答数	割合 (%)
1	時刻表検索（パソコンや携帯電話、スマートフォン等）	9	23.7
2	ブログやSNS（TwitterやFacebook等）	0	0.0
3	鉄道駅での掲示	4	10.5
4	観光雑誌やガイドブック	3	7.9
5	観光案内所	2	5.3
6	カーナビ	14	36.8
7	地図	3	7.9
8	その他	3	7.9
	不明・無回答	0	0.0
合 計		38	100

2.3.4 観光施設までの公共交通の利便性を高める施策（複数回答）

「運行本数が多くなる」が最も多く、次に「運賃が安くなる」が続く。

このことから、バスの運行本数が少ないことが、バスを利用しない1つの要因となっていることが伺える。



選択肢		回答数	割合(%)
1	運賃が安くなる	4	9.3
2	割引切符がある	1	2.3
3	駅などで積極的に情報提供がされている	2	4.7
4	早朝・深夜にもバスがある	1	2.3
5	運行本数が多くなる	22	51.2
6	所要時間が短くなる	1	2.3
7	鉄道との乗継が良くなる	4	9.3
8	バス同士の乗継が良くなる	1	2.3
9	車内で周辺の観光情報が手に入る	0	0.0
10	公共交通利用での特典(市内の施設で利用料金の割引が受	0	0.0
11	その他	0	0.0
	不明・無回答	7	16.3
合 計		43	100

2.4 施設別の公共交通に関する要望等（自由回答より）

■商業施設

- ・外出できる機会が増えるように、公共交通を充実してほしい。
- ・木津川市になってから、地域に応じたサービスが行き届いていない。

■医療施設

- ・かもバスについて、部分的に定期便があったらよい。
- ・バスは、今後のことを考えるとあった方がよい。
- ・現状でも、バスは十分便利である。
- ・木津川市から精華町へ行くバスがあれば嬉しい。

■観光施設

□バスに関して

- ・バスの本数を増やしてほしい。
- ・運賃を安くして、本数を増やしてほしい。

□情報提供に関して

- ・岩船寺から浄瑠璃寺までの道案内が不親切である。
- ・アクセス交通について、わかりやすく情報提供をした方がよい。

□その他

- ・公共交通をもっと充実してほしい。
- ・公共交通の利便性は、悪い印象がある。
- ・古寺は保存してほしい。